

五十周年記念誌

50周年記念誌

2025.1



一般社団法人 京都電業協会



一般社団法人 京都電業協会
Kyoto Electrical Construction Association



50周年記念誌

50周年記念誌

目 次

2	ご挨拶 (一社)京都電業協会 会長	進藤 久和
3	祝辞 国土交通省 近畿地方整備局 営繕部長 京都府知事 京都市長 (一社)日本電設工業協会 会長 京都府議会議長 京都市会議員	中山 義章 様 西脇 隆俊 様 松井 孝治 様 文挾 誠一 様 石田 宗久 様 田中 明秀 様
8	記念式典・記念祝賀会	
14	設立 50 周年記念誌対談	
20	創立から 50 周年までの歩み	
34	委員会・同好会 活動報告	
39	50 周年記念ゴルフコンペ	
40	歴代正副会長	
42	組織図	
44	会員のご紹介	
55	物故者名簿	

ご挨拶



一般社団法人 京都電業協会
会長
進藤 久和

一般社団法人京都電業協会は設立50周年を迎えることができました。50年という長きにわたり事業が継続できたことは、関係諸団体各位のご指導とご支援、並びに協会の発展に尽力された先輩各位のご努力と会員各位のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

協会が設立された昭和49年は、日本が戦後驚異的な復興を遂げ、日本列島改造論がとねえられ、オイルショックが起きた翌年という年になります。その後の日本は製造業が大躍進を遂げ世界第2位のGDPを記録し、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」という書籍が話題となり、バブル期に突入するわけですが、その後バブルが崩壊するとともに企業の破綻が相次ぎ、その後の失われた30年・リーマンショックと苦難の時代が続き、アベノミクスで少し持ち直したものの、コロナ禍による経済停滞へと続き、現在は2024年問題といわれる作業員の高齢化や労働人口減少に伴う人手不足・材料価格高騰と調達難、激甚化する自然災害と多くの課題に直面しており、「働き方改革」による労働環境改善が急務となっております。

そのような逆風の環境ではありますが、当協会は設立当初110社であった会員数が、現在では160社と増加し、活発に事業を行っています。昭和51年より継続している重要文化財指定等建造物の電気設備無料点検は開始以来延べ757か所の点検を実施したほか、京都府様・京都市様との防災

協定に基づく京都府防災訓練への参加、国家資格取得支援講習会の開催、電気技術者の技術力向上講習会(CPD対応)の開催、行政との意見交換会、設備三協会合同セミナーの開催、暴力対策協議会の活動、京都府立工業高校・京都工学院高校での出前授業による電気工事業界の魅力発信活動、脱炭素化社会実現のためのZEBに関する調査研究等多岐にわたって事業を展開しております。

今後はこの半世紀の歩みをもとに、未来に向けてさらに電気工事業界の発展・電気工事士の地位向上のために努めて参ります。つきましては、関係諸団体各位のなお一層のご指導・ご支援、並びに会員各位のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様方の今後ますますのご多幸・ご発展をお祈り申し上げます。50周年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

祝辞



国土交通省 近畿地方整備局
営繕部長
中山 義章

一般社団法人京都電業協会が設立50周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

また、平素より官庁営繕事業の推進に格段のご支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、かねてより電気設備工事業における技術水準の向上、担い手の確保・育成に積極的に取り組まれるとともに、電気設備工事の適正な施工の確保を通じ、良質な社会資本の整備と地域社会の発展に寄与されております。これまでのご尽力、ご活躍に深く敬意を表します。

近年は、平均気温の上昇や、自然災害が全国各地で頻発・激甚化しており、災害対応力の強化とともに、地球温暖化対策の重要性が非常に高くなっております。また、今後、高度経済成長期に整備された多くの官庁施設の老朽化が進む中で、計画的かつ効率的に老朽化対策を進めることが必要となっております。

国土交通省では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、営繕事業において新築する建物については、原則ZEB Oriented相当以上を目指して整備を進めております。従来からあります建築設備技術はもとより、新たな環境技術の採用や自然エネルギーの導入拡大も目指してまいります。

これら対策を着実に実施するためには、建築設備分野で先導的な役割を担い、各種ノウハウを培われてきた皆様の技術力に大いに期待するとともに、その果たすべき役割もますます大きくなっているものと考えております。

さて、建設業界では、人材不足や高齢化などのさまざまな課題を抱えるなか、昨年6月には、持続可能な建設業の実現と、そのために必要な担い手の確保を目的として、いわゆる「担い手3法」が改正されたところです。近畿地方整備局営繕部においても、「生産性向上」や「働き方改革」を一層進め、労働環境を改善し、やりがいと達成感のある「建設業界」となるよう努めていきたいと考えております。

営繕事業における働き方改革としては、時間外労働の上限規制や猛暑による作業不能日を考慮した適正な工期設定、週休2日の推進のほか、現場実態を反映した適正な予定価格の算定や必要な契約変更の円滑な実施等に取り組んでおり、円滑な事業推進による質の高い官庁施設の整備を着実に進めて参ります。

引き続き、時代の要請にこたえる施設整備を行うための環境整備に日々努力を重ね、関係省庁や地方公共団体と共有することで普及につなげてまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、今後とも建築設備の品質確保や電気設備工事の適正な施工の確保に向けて、これまで蓄積された技術力を十二分に発揮されますとともに、建築設備技術の発展・向上に、先駆的な役割を果たしていただくことを期待しております。

結びになりますが、このたび50周年を迎えられた貴協会のますますのご発展と、会員の皆様方のますますのご健勝、ご活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



京都府知事
西脇 隆俊

この度、一般社団法人京都電業協会が、設立50周年という記念すべき年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、設立直後から重要文化財等建造物の電気設備安全点検に取り組まれるなど、「電気のみもりびと」として進藤会長を中心に、電気工事に関する調査研究、技術の向上や工事の安全かつ適正な施工の確保を図り、業界の健全な発展に尽力されておられるところであり、心から敬意を表します。

さて、貴協会が設立された昭和49年は、前年に石油危機が始まり、戦後から続いた高度経済成長が終焉を迎え、「建設業、冬の時代」といわれる業界全体が厳しい経営環境にある時期でありました。こうした中、府民の生活や経済活動に不可欠である電気・通信の維持、確保のための活動を開始いただき、その後も、インターネット等の通信網や再生可能エネルギーの普及、災害対応技術の強化など、技術革新や社会的ニーズの変化に応じて的確に対応してこられたところであります。

この間、京都府において、関西文化学術研究都市の建設や京都縦貫自動車道の全線開通、京都舞鶴港国際ふ頭の整備、文化庁の京都移転などのプロジェクトをはじめ、府民の皆様が安心・安全で快適な暮らしを営むための道路、河川、上下水、建築などの社会基盤整備を着実に推進すること

ができたのは、電気設備工事をはじめとする建設業に従事される皆様の御尽力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

建設業は、人々の「夢」や「想い」を形に変え、将来にわたって暮らしを支える極めて崇高な産業であります。我が国全体で生産年齢人口が減少する中、建設業界においても高齢化や若手入職者の減少が進むなど、担い手の確保が喫緊の課題となっております。

このため、京都府では、建設業に携わる皆様の処遇改善や週休2日制工事の拡大による働き方改革、新技術の活用による生産性向上などの取組を進めてきたところであり、引き続き、持続可能な建設業に向けた取組を一層推進してまいりたいと考えておりますので、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、一般社団法人京都電業協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



京都市長
松井 孝治

重要性を改めて痛感したところです。

一方で、市長就任以来、地域の第一線で御活躍の皆様と意見交換をさせていただく中で、少子高齢化などによる担い手不足など、切実な声も伺ってきました。

大型台風などの災害の激甚化や、南海トラフ地震への備えを見据えて、地域、企業、大学、行政などあらゆる主体が、京都ならではの人と人のつながりを生かして活動できる更なる連携体制の構築が重要です。

こうした中、市民の日々の暮らしに欠かせない電気の安全・安心な供給を守ってくださっている貴会の役割はますます高まっています。

京都市としても、貴会の皆様をはじめ、地域企業・中小企業の経営をしっかりと下支えするとともに、若者・子育て世帯の定住の促進や、若者の起業やスタートアップの支援、企業立地促進などの施策を進めてまいります。

そして、誰もが幸せを感じ、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できるウェルビーイングなまちの実現する決意です。

結びに、一般社団法人京都電業協会の更なる御発展と、会員企業の皆様の御健勝と御多幸を心より祈念いたします。

明治維新による急激な人口減少で、都市存亡の危機に直面した京都を救った原動力は電気でした。明治24年に、琵琶湖疏水を利用した日本初の事業用水力発電所「蹴上発電所」が運転を開始し、日本初となる路面電車の営業をはじめ、京都の産業の近代化につながりました。

そんな京都のまちの発展を支えてきた電気の安全・安心を日夜守ってくださっている一般社団法人京都電業協会の皆様、設立50年の大きな節目を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

貴協会では、昭和49年の設立以来、電気工事の適正な施工の確保や人材育成に弛まぬ御努力を重ねて来られました。また、毎年、市内の文化財の電気設備の安全点検を実施してくださり、貴重な文化・歴史の伝承にも御尽力くださっています。

更には、大規模な災害が発生した際には、市民の命を守る拠点にもなる公共施設の迅速な応急復旧に向けた防災協定を、京都市と御締結いただくなど、地域の守り手としても大切な役割を果たしてくださっています。

進藤久和会長をはじめ、歴代役員並びにすべての会員の皆様に深く敬意を表します。

さて、昨年1月に発生した能登半島地震から1年以上が経過しました。私も昨年に被災地のひとつである七尾市を訪れ、被災された皆様の御苦労を目の当たりにし、防災対策の

祝 辞



一般社団法人 日本電設工業協会
会長
文挾 誠一

京都電業協会が、設立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。貴協会は、昭和31年に京都電気設備協会として発足し、その活動実績を踏まえ、昭和49年に京都府知事から社団法人の認可を受け、以来、電気工事業界団体として、電気設備工事業の発展に向けた協会活動を進めて来られました。

特に近年は、将来の「電気のまもりびと」を探し・育てる活動として担い手確保育成活動を平成30年から本格的に取り組まれ、高等学校への講習会や設備現場見学会を実施されています。また、古都京都の文化財の電気設備点検を平成23年度から京都府全域に点検対象地域を拡大され、最近では毎年26箇所の点検を続けておられます。これまでの貴協会ならびに会員各位の熱意と努力、進藤会長を始め歴代役員各位のご尽力とご苦勞に心から深い敬意を表します。

さて、電設業界では、昨年4月から適用が開始された罰則付き時間外労働の上限規制に対応するため、これまで業界一丸となって「働き方改革」を推進してまいりました。協会本部としましても、現場の後工程という同じ悩みを抱える（一社）日本空調衛生工事業協会と共同し発注者等への働きかけをしております。

また、2024年度から新たな電設業界の構築に向けて第四次アクションプランを始動させております。2027年度までに

少なくとも「4週8休」の実現を目指すなど、時間外労働の上限規制適用を梃子に「働き方改革」を深化させていきます。次に、担い手不足の深刻化に対応した「多様な人材確保・育成と処遇改善」方策を強化します。電設業が社会的使命を担う働きがいのある職場であることを、幅広い世代に積極的に情報発信します。さらに、生産性向上、省エネ・脱炭素化など、新技術の開発・普及に積極的に取り組み、適正な工程の確保に向けた実効性の向上を進めます。

このように「多様な人材が“いきいき”と活躍し、魅力と活力にあふれ、将来に希望の持てる電設業界」を目指し、行動する電設協として活動を進めてまいります。

貴協会の事業活動が従来にも増して充実発展されることを祈念するとともに、貴協会が日本電設工業協会にご入会いただいた昭和59年来の相互の絆が、今後、一層深まっていくことを願っております。

結びに、京都電業協会ならびに会員企業の益々のご発展と会員各位のご健勝を祈念申し上げ、一般社団法人京都電業協会設立50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



京都府議会議長
石田 宗久

一般社団法人京都電業協会が設立50周年を迎えられましたことを、京都府議会を代表し、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和49年の設立以降、今日に至るまで、電気設備工事における活動を通じ、地域社会の維持・発展、公共の福祉の増進に御尽力をいただき、このたび記念すべき節目の年を迎えられました。

これもひとえに、進藤会長や、歴代会長をはじめとする御関係の皆様のためまぬ御努力の賜物であり、深く敬意を表します。

近年、我が国では、少子高齢化が進行し、また、自然災害が頻発するなど社会情勢が大きく変化しています。そのような中、担い手確保・事業者の技術力向上に資する活動や、災害対応への啓発、文化財保護など、社会の要請に応える諸事業に取り組まれる貴協会の役割は一層大きくなるものと存じます。

我々、京都府議会も、今後とも、建設業界を取り巻く諸課題の解決に取り組み、府民の皆様が安心・安全に暮らすことのできる地域社会の実現に努めてまいります。

結びに、一般社団法人京都電業協会のますますの御発展並びに関係の皆様のご活躍、御健勝を心より祈念し、私のお祝いの言葉といたします。



京都市会議員
田中 明秀

一般社団法人京都電業協会設立50周年おめでとうございます。本日ここに記念式典・表彰式とともに盛大に祝賀会が開催されますことに心からお慶び申し上げます。

昨年1月の能登半島地震や東日本大震災、頻発する台風や集中豪雨等気候変動の影響もあり、自然災害が増加しています。

平時に生活インフラの備えが大事であり、その為に貴協会の皆様方に御尽力いただいており、改めて感謝申し上げます。

又近年の働き方改革や人手不足、資材高騰等業界にとって厳しい状況が続いていますが、その中で高い技術力の継承で市民の安心・安全を守る工事をしていただいております。引き続き社会基盤整備の推進にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

結びに一般社団法人京都電業協会のますますのご発展と御臨席の皆様方の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

一般社団法人 京都電業協会

設立50周年

記念式典・記念祝賀会

ご来賓名簿

国土交通省 近畿地方整備局 営繕部	設備技術対策官	那須 大輔 様
国土交通省 近畿地方整備局 京都営繕事務所	所長	西田 誠 様
国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所	所長	尾崎 悠太 様
京都府	副知事	鈴木 一弥 様
京都府議会	議長	石田 宗久 様
京都府 建設交通部	技監	西村 祥一 様
京都府 商工労働観光部	副部長	山本 太郎 様
京都府警察本部 刑事部 捜査第四課	課長	井上 禎敬 様
京都府教育庁 管理部	管理課長	石田 英樹 様
京都市	市長	松井 孝治 様
京都市会	議員	田中 明秀 様
宇治市	市長	松村 淳子 様
向日市	市長	安田 守 様
長岡京市	市長	中小路 健吾 様
京都市 産業観光局	局長	草木 大 様
京都市 都市計画局	局長	簀 哲也 様
京都市 建設局	局長	古川 真文 様
京都市 交通局	公営企業管理者交通局長	北村 信幸 様
京都市 上下水道局	技術監理室長	山中 伸行 様
京都市 消防局	予防部長	藤生 卓樹 様
京都府消防長会	予防部会長	曾利 一之 様
京都市立京都工学院高等学校	校長	大窪 英行 様
京都府立工業高等学校	校長	野村 善之 様
公益財団法人京都府暴力追放運動推進センター	専務理事	角野 和弘 様
一般社団法人日本電設工業協会	会長	文挾 誠一 様
一般社団法人日本電設工業協会 関西支部	事務局長	土井 俊明 様
一般社団法人福井県電業協会	会長	伊藤 仁一郎 様
一般社団法人滋賀県電業協会	会長	中嶋 良典 様
一般社団法人兵庫県電業協会	会長	小坂 哲二 様
一般社団法人奈良電業協会	会長	藤原 隆夫 様
一般社団法人和歌山電業協会	会長	吉川 幸夫 様
一般社団法人京都府建設業協会 京都府建設産業団体連合会	会長	小崎 学 様
一般社団法人京都府建築士会	会長	山領 正 様
京都府建築家協同組合	理事長	羽生田 英雄 様
一般社団法人京都府空調衛生工業協会	会長	石倉 宏 様
一般社団法人京都設備事務所協会	会長	小野寺 務 様
一般社団法人京都消防設備協会	会長	瀧中 昇 様
一般社団法人京都市公認水道協会	会長	馬場 博嗣 様
京都府電気工事工業組合	副理事長	赤畠 貞宏 様
京都府電気工事工業協同組合	理事長	内藤 克敏 様
京都府電機商業組合	理事長	河村 泰三 様
京都府電設資材卸業協同組合	理事長	鶴田 哲司 様
関西配電盤工業協同組合 京都配電盤工業会	副理事長 会長	橋本 謙一 様
京都府塗装工業協同組合	理事長	岩根 直人 様

一般社団法人 京都電業協会 設立50周年記念式典 次第

開催日：令和7年1月21日(火) 場所：リーガロイヤルホテル京都 2階

式典

[16時00分～] 会場：朱雀

- 一、開会の辞
- 一、物故者への黙祷
- 一、ご来賓紹介
- 一、会長挨拶
- 一、表彰
 - 団体役員功労者表彰
 - 京都府知事表彰
 - 優良従業員表彰
 - 京都府知事表彰
 - 京都市長表彰
 - 一般社団法人京都電業協会 会長表彰
- 一、暴力対策協議会20周年 感謝状 贈呈
- 一、ご来賓祝辞
 - 国土交通省近畿地方整備局 営繕部長 様
 - 京都府知事 様
 - 京都市長 様
 - 京都府議会議長 様
 - 京都市会議員 様
- 一、文化財点検に関する報告
- 一、特別講演 [16時45分～]
 - 京都大学大学院 藤井 聡 教授 「公共事業が日本を救う」
- 一、閉会の辞

祝賀会

[18時00分～] 会場：春秋

- 一、開 会
- 一、50周年振り返り動画 上映
- 一、挨拶
- 一、歴代会長へ感謝状 贈呈
- 一、乾 杯
- 一、アトラクション
- 一、閉 会

設立50周年記念式典



令和7年1月21日(火)、(一社)京都電業協会設立50周年記念式典がリーガロイヤルホテル京都にて開催されました。国土交通省近畿地方整備局営繕部 設備技術対策官 那須大輔様、京都府副知事 鈴木一弥様、京都市長 松井孝治様、京都府議会議長 石田宗久様、京都市会議員 田中明秀様、(一社)日本電設工業協会 会長 文挾誠一様をはじめ、官公庁、関係団体の多数のご来賓の方々にご臨席を賜り、協会会員を含め200名を超える出席となりました。進藤会長による主催者挨拶では50周年を迎えられたことへの感謝と協会主要事業のご紹介、未来への展望を述べられました。団体役員功労者表彰や優良従業員表彰、ご来賓祝辞のほか、高崎理事より文化財点検に関する報告も行われました。また、協会の設立時から業界振興に貢献された物故者への黙祷や、京都府警察本部より暴力対策協議会への感謝状贈呈もあり、厳粛な雰囲気とお祝いムードが混ざり合った素敵な空間での式典となりました。

特別講演



協会設立50周年を祝う特別講演として、京都大学大学院工学研究科 藤井聡教授をお迎えし、「公共事業が日本を救う」というテーマにて約1時間に亘ってご講演をいただきました。藤井教授は40周年記念式典においてもご講演をいただいております。過去10年間の建設業界をはじめ未来の建設業界についても熱く語っていただきました。多くの公共事業を実施することが経済の活性化に繋がり、国家の繁栄をもたらすということを改めて感じるとともに、電気工事業界の重責を再確認し、誇りをもって事業に邁進することを誓う時間となりました。藤井教授のユーモアあふれるご講演に、会場は大きな拍手に包まれ、大変有意義な特別講演となりました。

祝賀会



式典、特別講演ののち、総勢251名による盛大な祝賀会が開催されました。祝賀会冒頭では「京都電業協会の50年」を振り返る映像が上映され、懐かしい風景の映像とともに未来に向けて気を引き締める時間となりました。進藤会長の挨拶では感謝とともに今後の電気工事業界の展望を述べられました。その後、日本電設工業協会 文挾会長に乾杯のご発声いただき、和やかな雰囲気の中での歓談となりました。当日ご来場された第7代佐伯会長・第9代木下会長に感謝状が贈呈され、お二人のスピーチで会場は大いに盛り上がりました。京都電業協会おなじみのアトラクションでは堀康理事の名調子の司会で豪華景品争奪〇×ゲームを行い、こちらも会場は大きな笑いに包まれました。閉会挨拶として五島副会長より感謝の言葉が述べられ、京都電業協会の未来の更なる発展を誓い閉会となりました。

設立50周年記念誌対談



継承と革新 電業協会、過去10年の軌跡と 未来への提言

持続可能な未来を切り拓くための使命と挑戦

出席者紹介

前会長（第9代） 顧問	木下博之
前副会長 顧問	山科隆雄
現会長（第10代）	進藤久和
現副会長	小滝寛
現副会長	田中繁信
現副会長	五島幹也
司会者 理事	高崎二郎

高崎 ただ今より、京都電業協会設立 50 周年記念誌の座談会を開始いたします。私は、司会を務めます高崎です。私ども京都電業協会（以下、協会）は、10 年ごとの周年事業の際に記念誌を発行してまいりました。今回は、40 周年からの 10 年間の出来事や現在の状況、これからの業界のあるべき姿についてのお話を伺いたいと考えております。よろしくお願いいたします。それでは進藤会長より、ごあいさつをお願いできますでしょうか。

進藤 本日は皆さま、お集まりいただきありがとうございます。設立 50 周年の節目を迎えるにあたり、過去の活動内容を振り返りながら、本業界が今後ますます発展できるように事業に臨みたいと考えているところです。本日はどうぞ忌憚（きたん）の無いご意見をよろしくお願い申し上げます。

参加者全員（一同） よろしく申し上げます。

高崎 それでは本題に入ります。まずは、木下顧問より財政赤字化の経緯をお聞かせ願いますでしょうか。

木下 設立 50 周年、おめでとうございます。ひとえに諸先輩のご尽力の賜物と心より敬意を表します。

協会の財政赤字の経緯には、二つの大きな問題がありました。一つは大手サブコンの脱退です。平成 18 年、全国大手の電気工事会社各支店が都道府県の電業協会から一斉に退会することとなりました。当協会も、33 社の会員が一斉に退会し、約 500 万円の会員収入が減額となりました。

もう一つは、京都市営住宅の保守業務の終了です。以前は、京都市営住宅の電気設備補修業務の一部は随意契約で発注されておりました。しかし時代の流れもあり、平成 23 年から一般競争入札に全て変更されております。変更で安定的な収益が見込めなくなった結果、翌年度の決算は約 700 万円の赤字決算となりました。

高崎 それでは山科顧問より、財政改善についてお聞かせ願います。

山科 設立 50 周年、おめでとうございます。協会では赤字決算の都度、「財政再建の特別委員会」が立ち上げられてまいりました。以前は、直近の特別委員会ほどの危機感が無かったように感じております。直近は、本当にギリギリとの意識を持ち、皆さまで財政改善に取り組んでいただきました。

また、財政の改善や健全化だけに目が行き、今ある協会の良さや絆のようなものが消える事態は避けるべきです。



その前提で委員会の議論を進めていただきました。

併せて取り組んでまいったのが、抜本的な解決につながる政策です。全理事が自分事と捉えて取り組んでいただけた答申を理事会に提出いたしました。その後は会長自らが、再建の実行委員会を組織し、陣頭指揮に当たってくださいました。この中で、議論や答申などの取りまとめは、事務局の働きが大きかったことを覚えております。

高崎 会長在任中には、新型コロナウイルス感染症の対応にご苦労が多かったとお察しいたします。

木下 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令や不要不急の外出自粛が要請され、先行きの不安な一年となりました。感染予防を第一に協会運営をいたしました。一部は中止または開催規模の縮小を余儀なくされたものの、さまざまな感染防止対策を講じ、多くの事業が実施できた点は良かったと考えております。通常総会と暴力対策協議会総会は、書面決議や Zoom でのリモート会議などを活用して可能な限り実施いたしました。技術力向上講習会は、会場出席と Web 会議の併用としたため、受講者の大幅増加となったところです。

高崎 社会的要求から事務局の処遇改善にもご尽力いただきました。

木下 事務局の処遇改善は、協会にとって大いに反省すべきだった案件です。以前は、事務局の残業や休日出勤への支給が不明朗であったり、退職金の引き当てができていなかったりする状態でした。そこで、中小企業退職金共済に加入するなど、協会のシステム全体を改善いたしました。

さらに協会の業務を棚卸し、会議資料の作成など、事務局任せだった業務を各委員会と明確に役割分担した点も改善点として挙げられます。会議資料は、紙では配布せず、HP のクラウドにて全て掲示をいたしました。その他、紙ベースの案内をメールに替えるなど、IT や Web の活用によって業務の効率化を図りました。遅くはなりましたが、事務局の皆さまが安心して働ける環境を作れて良かったと考えております。

山科 財政健全化に向けた特別委員会の設置からもわかりいただけるとおり、事務局には常に負担を強いていたかと存じます。働き方改革が叫ばれる中で、遅まきながら少しでも良い方を向いたことをほっとしております。

高崎 諸先輩方のご苦勞の上で協会運営が進んでまいったわけですが、現在の方針と状況について現執行部にお話いただきたいと思います。

進藤 私は協会を運営する上で「相互理解と切磋琢磨」というスローガンを立てました。同業者と交流し、お互いの事をよく知った上で切磋琢磨しながら良い会社作りを競争して行く事が業界の発展に繋がると考えるからです。近年は、IT の進化で人間同士の接点が少なくなったため、親密な関係性の構築を心がけて運営していると考えております。

小滝 私は総務委員会と政策委員会の担当です。総務委員会では、協会事務局や理事会などの運営全般と、各種懇談会や懇親会の企画・設営を行っております。政策委員会では、府内各行政との窓口としての行政訪問会、暴力対策協議会、外部他団体との窓口活動を実施・運営しております。



田中 令和 5 年度の組織体制は、考え方・行動・積極的な方向性でお若い理事が協会を運営されており、非常に良い状態だと捉えております。また、外部顧問として、府議会議員・市会議員の両先生を新たにお迎えいたしました。広い視野から協会へのアドバイスを頂戴し、大変心強く感じております。

五島 技術委員会は、電気設備技術者の技術力向上や資格取得者の増加と、協会会員企業の経営力強化を図る事業に取り組んでおります。50周年特別委員会は、次世代へつなげるために、活動記録を残しつつ、会員同士が親睦を深める事業を実施いたします。

高崎 運営方針の一つとして、新事業創出委員会という特別委員会が新しく立ち上げられました。経緯や内容をお聞かせ願いたいです。

進藤 協会として新事業に取り組むべきとの提案から、潜在需要が多い ZEB（Net Zero Energy Building：快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物）への取り組み方法の紹介が会員満足度向上につながると考えました。地球温暖化防止につながる社会意義の高い仕事で、取り組みの価値も大きいと考えております。

高崎 会員の増強についてのお話を願いたいします。

田中 財政特別委員会の答申を受け、会員増強委員会を立ち上げ、理事役員が一丸となって新入会員を増やそうとの話になりました。入会いただいた中には、協会の委員会で委嘱委員としてもご尽力くださっている会員もいらっしゃいます。

高崎 会員に長く在籍していただけるように、協会加入のメリットをお聞かせ願いたいです。

山科 当業界で仕事をする上で必要な情報がいち早く得られる、あるいは経営者や社員の研修の機会が提供されていることに尽きるかと存じます。私の場合は、協会の諸活動を通じて、素晴らしい仲間と多く知り合えたことが大きかったです。人を誘う場合は、入って良かったとご自身が思う点を魅力として伝えていただくのが大切かと思っています。

小滝 入会を勧めると、どのようなメリットがあるのかとよく聞かれます。入会のメリットは、同業者間の人間関係の構

築だと私は思っております。京都府内全体の会員が、総会や賀詞交歓会などで会う・懇親を深める・知り合う場。これが一番大きなメリットだと考えております。

進藤 私は、人脈を構築できる意義が大きいと思っております。

五島 新入会員の情報収集・研修・仲間づくりに活きる組織としての努力を今後も続けてまいります。

高崎 技術者の高齢化と技術者不足という、業界の課題についてお聞かせ願いたいです。

五島 業界の魅力を発信し、共感していただく必要があると考えております。SNS でいかに発信するか。私たちの世代にはなじみの無い世界ではあるものの、今、実行しないと会社の未来は無いと考えております。

高崎 人材を取り合うのではなく、建設業界全体で構造的な改革・改変をしなければ、糸口がつかめない問題です。続きまして、材料価格高騰と資材調達難のお話を願いたいします。

小滝 国内全ての材料・資材および労働賃金・人件費が上がっている状況です。今は、正々堂々と適切な価格で交渉ができる時代だと思っております。安値受注やダンピング受注をしていると、企業体力が持ちません。発注者をお願いするよう努め、金額を上げていただけたらと思っております。

木下 材料調達難は、かつて経験したことが無い状況です。機器やケーブルの受注が停止される事態も発生しております。人手不足問題とともに工程管理が非常に難しくなっております。

高崎 後継者問題はいかがでしょうか？

進藤 各社が抱えている大きな問題です。M & A（Mergers and Acquisitions：企業の合併・買収。事業承継や事業拡大への取り組み）の広告が毎日複数枚届いている状況です。若い世代に魅力ある姿を見せることが必要不可欠だと考えております。

高崎 ハラスメント全般のお考えを聞かせてください。

山科 社員や部下の指導もためらう事態にならないかと危惧しております。信頼が無ければ、ハラスメントと認識されるかもしれません。ただ信頼があれば、指導やアドバイスとして受け止められるはずです。難しい・微妙なテーマの意



見交換が協会の仲間とできるのは、本当にうれしく思っております。

高崎 女性や青年部の活躍が目立つようになってまいりました。多くの方々が積極的に参加してくださるための工夫や組織づくりについてはいかがでしょうか。

田中 組織体制の中に女性理事が近年誕生いたしました。女性委嘱委員 2 名の活発的な意見は、男性と違う考え方があり、大変参考になります。いろいろな角度からものを見るためにも、積極的に女性に参加していただきたいと思っております。

青年部は担い手活動の一環として、京都市立京都工学院高等学校・京都府立工業高等学校への出前授業を 4 年間継続いたしました。今後の課題は、会員企業の担い手確保のために、地元企業への就職を学校側と共に働きかけていくことが挙げられます。

高崎 暴力対策協議会も、開催して 20 周年を迎えます。長くお世話いただいている小滝副会長からお話を頂戴したいです。

小滝 暴力対策協議会は、2005 年の設立から、ちょうど 20 年目となります。最近は、不当要求なども聞かなくなってきました。暴力反対運動も世間で広がり、協会が 2 年に 1 度行っている責任者講習会などの成果もあり、不当要求撲滅が定着してきたのではないかと感じております。

高崎 以前、25 周年の時にはファミリンピックが開催されました。ファミリンピックのお話も、実行委員長であられました

山科顧問より伺いたいと存じます。

山科 財政が豊かだった時代に実行委員長に任命され、当時の若手で準備をいたしました。園部の KPC のグラウンドに 700 名ぐらの会員企業の皆さまが集まり、4 色のグループに分かれ、それぞれの色の T シャツを着て競技をしたように覚えております。豪華な商品も話題でした。財政はともかく、協会の今のエネルギーは、ファミリンピックをした時に負けない、より充実して満ちているとすら感じております。

高崎 以前は紙で発行をしていた会報誌を、令和 4 年 2 月に電子化いたしました。携わっていただいた山科顧問にお話を伺いたいです。

山科 財政再建と絡めた話で、議論を重ねた上で決定いたしました。時代の流れとして仕方ないと思う半面、紙媒体に親しんでいた世代として、一抹の寂しさを感じたのも事実です。協会のホームページ立ち上げにも関わった私から見ても、内容が充実してきたと感じております。どれだけの方が見て活用してくださっているかが課題ですので、今後もチェックしていただきたいです。

高崎 AI（Artificial Intelligence：人工知能）が進歩する中、電気工事はどのようなになるのか、進藤会長の考えをお聞かせ願います。

進藤 電気工事には、理系のイメージがございます。しかしながら技術者には、お施主さまに対するプレゼン能力や、設計事務所やゼネコン所長に対する交渉力、現場作業に対する統率力などの「人間力」が求められます。だからこそ AI に取って代わられない仕事であると思いますし、それゆえに、仕事を達成した時の喜びも大きいのだと考えております。



田中副会長

高崎 次世代の技術者の育成には、田中副会長はどのような考えをお持ちでしょうか。

田中 当協会の技術委員会では、ハードな技術やソフトな知識を得るためのいろいろな講習を実施しております。職種が多い業界ながら、ソフトな職種の仕事以外、各企業の中はハードな部分は同じような人材が多い状況です。一つの企業の中にあらゆる技術者が在籍しても良い。また、将来の人材不足の観点から、いち企業に依頼すれば全ての仕事が完成するような、総合的な電気設備工事業者になることが望ましいと考えております。

高崎 社会全般の課題として、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）のための取り組みについて、五島副会長はどのようにお考えでしょうか。

五島 我が国は、リーダーシップを発揮すべき立場です。持続可能な社会をつくるための取り組みは重大な責務であり、避けられないと考えております。

高崎 今後の公共工事について、小滝副会長はどのようにお考えでしょうか。

小滝 京都市の超大型物件がひとつおり発注されております。今後は、施設建物の超寿命化・省エネ化・ZEB 化・LED 化（発光ダイオード [Light Emitting Diode] への切り替え）などで、改修工事が増えてくると考えております。

進藤 新築物件は少なくなっていくでしょう。ただし、既設建築物の設備機器の更新や建て替えの必要性は高まってくると考えております。既設との取り合いや複合的な要素があり、改修工事は設備設計の作成や積算業務が難しくなってくるでしょう。その中で重要と考えられるのが、改修工事

に対応できる技術者、とくに設計技術者の確保です。またダンピングによる業者の疲弊を防ぐため、入札制度の根本的な改革も必要と考えております。

高崎 今後の電気工事業界の発展と、電気工事士の地位向上のために、どのように考えて行動すべきと進藤会長はお考えでしょうか。

進藤 国土交通省が発表している京都府の電気工事士の労務単価は 45 職種中 39 位と、国家資格や実務経験が必要にもかかわらず、他業種に比べて低いのが現状です。さまざまな場面で陳情し、労務単価の上昇を実現することがまずは必要と考えております。

それから、日常生活を支える電気工事業界の重要性をよりアピールする事が業界の地位向上には必要だと考えています。

田中 電気工事業界には、請負制度がございます。社会環境が変わって脱炭素社会に突入した際には、ZEB 化や省エネルギー関連の仕事にいち早く取り組むことが地位向上を果たす上で重要と思われます。そのために、協会が中心となり、会員企業に指導をしていければ、業界の地位向上につながるでしょう。

高崎 協会 100 周年に向けて、会長から順に一言ずつお願いしたいと存じます。

進藤 50 年後に生きていたら、110 歳になります。ドラえもんに描かれるような便利で快適な近未来社会が実現でき、その中で電気工事業界が重要な役割を担っていれば素晴らしいですね。

小滝 一番難しいのが、継続だと思っています。皆さまとともにこれからも尽力してまいりたいです。

田中 京都府の人口は、現在が約 252 万人で、50 年後には約 188 万人になると予想されております。電気工事業界はなくならないと思うのに併せて、時流に沿って、どのような業者や業界が残れるのかを論ずる時代に入ったと思っています。

五島 10 周年の記念誌を拝見したところ、技術者不足・材料価格の高騰・資材の調達困難は 50 年前からすでに課題だったようです。今後も資機材の進化と共に社員一人ひとりの魅力を最大限に発揮できる環境づくりに尽力してまいります。世の中から必要とされる魅力あふれる業界になる

と予想します。

高崎 顧問のお二人からも一言お願いいたします。

木下 財務特別委員会は、令和元年に発足され、令和 2 年の 10 月に答申を受けました。これに基づく行動計画も出されました。各委員会が自分事として取り組んでくださったおかげで、令和 4 年度の決算では、12 年ぶりの黒字決算という素晴らしい実績が上がっております。理事・会員の皆さまの努力に対し、この場を借りて御礼を申し上げます。

山科 進藤会長の下、活発な活動が展開され、夢と希望を感じております。皆さまがおっしゃるとおり、電気工事業界はますます発展しそうです。進藤会長を先頭に、皆さまで力を合わせてご尽力いただくことを願っております。

高崎 ありがとうございます。顧問の二人には貴重なお話を聞かせていただきました。それでは、閉会のごあいさつを五島 50 周年特別委員長よりお願いいたします。

五島 本日、ご列席の皆さまから熱い想いのこもったお話を多く拝聴し、歴史を感じました。今日いただいたご意見やお話を記念誌の中で後世に伝え、電気工事業界の発展のために今後も努力してまいります。本日は誠にありがとうございました。

一同

ありがとうございました。

ロング版は
こちらから▼



創立から50周年までの歩み

1956年～1975年

	京都電業協会の歩み	社会の歩み
1956年 (昭和31年)	9月 前身体「紫明会」「京都電気設備協会」等の団体が発足	・猪谷千春選手が冬季五輪で初メダル獲得
1966年 (昭和41年)	5月 蹴上の東山会館において初の京都市役所との懇談会が行われる	・ビートルズが初来日
1968年 (昭和43年)	1月 他団体と統合・名称変更「京都電気設備研究会」に改称し、東山閣にて設立総会が開かれる	・三億円事件 ・霞が関ビル完成
1969年 (昭和44年)	1月 「京都電気設備研究会」の第1回総会を嵐山の嵐峡館にて開催	・アポロ11号が人類初の月面着陸に成功
1970年 (昭和45年)	10月 単独事務所を開設(中京区藤木町)	・よど号ハイジャック事件 ・大阪で万国博覧会開催
1971年 (昭和46年)	5月 京都電業協会に名称変更	・マクドナルド1号店開店
	10月 全国電業協会連絡協議会に加入	・ボウリングブーム
1974年 (昭和49年)	9月 社団法人京都電業協会の設立に向け、設立総会を開催し全会員が賛同	・ユリゲラー超能力ブーム
	12月 京 都 府 知 事 より 認 可 証 を 受 領 し 社団法人京都電業協会が設立	・長嶋茂雄選手現役引退
1975年 (昭和50年)	1月 社団法人京都電業協会の発会式開催	・山陽新幹線 全線開通
	4月 京都府中小企業会館五階へ事務所移転 初代会長 小滝慶太郎氏 副代表幹事 原田琢三氏 副代表幹事 棚谷四朗氏	・英国女王 エリザベス2世 来日 ・東映太秦映画村 開園

代表幹事	小 滝 慶太郎
副代表幹事	原 田 琢三
会計幹事	棚 谷 四朗
会計監査	坪 内 一 郎
幹 事	後 藤 五 男
	小 野 新 一 郎
	堀 口 要
	市 川 伊 助
	足 立 徳 治
	佐 藤 一 二
	小 林 玉 樹
	向 山 光 男
以上の役員が昭和43年1月に決められた。	

京都電気設備研究会の役員
(昭和43年1月)

会 長	小 滝 慶太郎
副 会 長(技術・経営)	原 田 琢三
常任理事(文化)	棚 谷 四朗
常任理事(総務)	足 立 徳 治
常任理事(技術)	菅 原 新三郎
常任理事(経営)	中 山 信一郎
常任理事(会計)	林 久 男
理 事(総務)	若 松 兼 雄
理 事(経営)	岡 崎 一 二 三
理 事(文化)	神 田 甲 道
理 事(総務)	佐 藤 一 二
理 事(経営)	堀 岡 一 井
理 事(文化)	中 島 貞 三
理 事(総務)	二 谷 吉 郎
理 事(経営)	水 島 昭
監 事(技術)	坪 内 一 郎
監 事(経営)	林 治 吉

社団法人京都電業協会の初代役員



社団法人京都電業協会発会式(昭和50年1月)



京都府中小企業会館に事務所移転(昭和50年4月)

1976年～1984年

	京都電業協会の歩み	社会の歩み
1976年 (昭和51年)	5月 嵐山・嵐峡館にて第2回定時総会開催	・ヤマト運輸「宅急便」開始
	10月 重要文化財電気設備安全点検奉仕活動の開始	・ロッキード事件発覚 ・「アントニオ猪木対モハメドアリ」異種格闘技戦
1977年 (昭和52年)	5月 浜松市館山寺・遠鉄エンパイヤホテルにて第3回定時総会開催	・京都府八幡市 誕生 ・王 貞治選手 本塁打世界新記録樹立 ・日本初の静止気象衛星「ひまわり」打上げ
1978年 (昭和53年)	5月 城崎町のブルーきのさきにて第4回定時総会開催	・新東京国際空港 開港 ・サザンオールスターズ デビュー ・京都市電全廃・市営バスに移行
1979年 (昭和54年)	5月 伊勢志摩賢島・第三賢島荘にて第5回定時総会開催	・「おはよう朝日です」放送開始 ・スリーマイル島原発事故 ・携帯型音楽プレーヤーウォークマン発売
1980年 (昭和55年)	協会のシンボルマークが制定される	・なめ猫ブーム ・王 貞治選手 現役引退 ・ルービックキューブ発売開始
1981年 (昭和56年)	11月 国債障害者年の協力事業を行う	・赤城乳業 ガリガリ君発売開始 ・京都市初の地下鉄 烏丸線開業
1982年 (昭和57年)	第1回電気設備設計コンクールの実施	・ホテルニュージャパン火災 ・東北・上越新幹線 開業 ・初代500円硬貨 発行
1983年 (昭和58年)	11月 「京阪奈学研都市」講演会を開催	・ファミリーコンピュータ発売 ・東京ディズニーランド 開園
1984年 (昭和59年)	5月 第10回定時総会開催	・グリコ・森永事件 ・国鉄(JR)奈良線 電化 ・カールルス五輪陸上四冠



第3回定時総会の様子(昭和52年5月)この頃より公益法人としての役割が多くなり、京都府のご指導を得て、重要文化財建造物の避雷針の無料点検や学校などの施設の電気設備無料点検、市営住宅の保守点検業務などを行った。



京都電業協会のシンボルマークを会員から応募。24点寄せられ委員会、理事会で審議を重ね、専門家の意見も併せた結果、田村博司氏のデザインを採用した。

1985年～1995年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
1985年 (昭和60年)	1月	法人設立10周年記念セレモニー開催	・阪神タイガース 初優勝 ・日本航空123便墜落事故 ・電電公社民営化 NTT誕生
1986年 (昭和61年)	9月	俳句同好会の発足	・ドラゴンクエスト第一作登場 ・富士フィルムが写ルンです発売
	10月	松下ツイン21・サントリー 桂工場見学会開催	・チェルノブイリ原発事故 ・パプル景気の始まり
1988年 (昭和63年)	2月	第43回国民体育大会京都国体・スポーツ振興基金に協力	・青函トンネル・瀬戸大橋開通 ・電気工事施工管理技術検定試験開始
	12月	工事現場の安全パトロール実施	・第43回国民体育大会 京都国体 開催
1989年 (昭和64年 平成元年)	11月	健康についての講演会・座談会開催	・昭和から平成へ ・消費税スタート(3%) ・ベルリンの壁 崩壊
1990年 (平成2年)		1級電気工事技術者特別研修を開催	・イラクがクウェート侵攻 ・東西ドイツ再統合 ・海遊館が開業
1991年 (平成3年)	5月	京都みどりの祭典 全国植樹祭開催	・湾岸戦争勃発 ・FM京都 α-station 開局 ・ソビエト連邦崩壊
1992年 (平成4年)		社会福祉施設の無料点検の充実	・暴力団対策法 施行 ・東海道新幹線 のぞみ 運転開始 ・松井秀喜選手5打席連続敬遠
1993年 (平成5年)		公益事業・業務のコンピューター化	・サッカーJリーグ開幕 ・平成の米騒動 ・皇太子殿下と雅子様がご結婚
1994年 (平成6年)	6月	建設業者経営事項審査制度改正に対応する研修会を開催	・平安遷都1200年 ・槇原寛己選手 完全試合達成 ・関西国際空港 開港
1995年 (平成7年)		人権及び同和問題研修会を開催	・阪神淡路大震災 ・地下鉄サリン事件
		暴力団対策に対する指導講話会を開催	・横山ノック氏が大阪府知事に ・ウィンドウズ95発売



俳句同好会発足



工事現場の安全パトロール
点検現場は京都市交響楽団練習場・西大路市営住宅
大枝中学校・桂坂小学校



京都みどりの祭典
当協会は歓迎飾花に協賛し、京都府知事より感謝状
並びにお礼状を頂戴しました。



科学的な管理と人手不足の深刻化や、週休二日制の実
施に伴い、コンピューターによる集中管理の実現



人権及び同和問題研修会を開催

1996年～2001年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
1996年 (平成8年)		普通救命講習会を開催	・「O-157」集団食中毒事件
		第1回ボーリング大会を開催	・アトランタオリンピック 自分で自分をほめたい マイアミの奇跡
1997年 (平成9年)	10月	新卒者確保のためのPR訪問	・京都駅ビル 開業
		びわこホール及び県立琵琶湖博物館の見学	・山陽新幹線500系電車に よる300km/h運転開始 ・京都府京田辺市 誕生
1998年 (平成10年)		1級電気工事施工管理技術検定試験の特別講習会を開催	・長野オリンピックパラリン ピック開催 ・明石海峡大橋 供用開始
	2月	公益・経営委員会合同勉強会を開催	・京都市 市役所開庁から 100年
1999年 (平成11年)	2月	設立25周年記念講演会を開催	・「iモード」サービス開始
	10月	設立25周年記念大運動会「ファミリンピック」を開催	・石原慎太郎氏 東京都知 事に就任
		第1回建設現場安全パトロール員研修会を開催	・インターネット巨大掲示板 「2ちゃんねる」出現
2000年 (平成12年)	9月	IT特別委員会を設置	・シドニーオリンピック ・高橋尚子選手 金メダル 獲得
	12月	ホームページの開設	・コンピューターの2000年 問題
	2月	京都競馬場を見学	・スーパカー規制法 施行
2001年 (平成13年)		特別座談会の開催 議題「明るく夢を語ろう2002年」	・ユニバーサル スタジオ ジャパン 開園
	2月	NECライティング(株)滋賀工場を見学	・中央省庁再編 国土交通 省の誕生 ・東京ディズニーシー 開園



第一回ボーリング大会
ボーリングブームもあり84名の参加者で大いににぎわいました



びわこホール建設現場の見学
新しい技術が取り込まれた照明システムや最新の舞台
音響設備を見学させていただいた



公益・経営委員会合同勉強会
「産業廃棄物の今後のあり方について」
「電気工事業の経営改善について」



大運動会 ファミリンピック



ホームページ開設セレモニー



京都競馬場見学

2002年～2008年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
2002年 (平成14年)	6月	LAN研修会を開催	・ユーロ紙幣・硬貨流通開始
		行政との意見交換会を開催	・FIFAワールドカップ 日韓 共同開催 ・田中耕一氏ノーベル化学 賞受賞
2003年 (平成15年)	4月	青年部会の発足	・京都パープルサンガサッ カー天皇杯 優勝
	11月	PFI講習会を開催	・ICカード「ICOCA」運用 開始 ・重症肺炎SARS 流行
2004年 (平成16年)	1月	設立30周年記念式典を開催	・韓流ブーム
		第1回建設現場安全パトロール員研修 会を開催	・京都府京丹後市 誕生 ・プロ野球 楽天球団新規 参入
2005年 (平成17年)	7月	暴力対策協議会 設立総会	・京都府京丹波町 誕生
	8月	京都府・京都市・舞鶴市との意見交換 会を開催	・道路関係4公団の民営化 ・中部国際空港(セントレア) 開港
2006年 (平成18年)	11月	府内各市町及び北部地域の国・府等 の出先機関等への分離発注陳情キャ ンペーン	・京都府南丹市 誕生
	11月 ~2月	パソコンスキルチェックセミナー&電子 納品実体験セミナー	・阪急電鉄・阪神電鉄の経 営統合 ・「ご当地ナンバー」開始
2007年 (平成19年)	11月	青年部会で宇治塔ノ島周辺のクリーン 活動を行う	・iPhone初号機発表 ・京都府木津川市 誕生
2008年 (平成20年)	3月	救命及びAED講習会	・賞味期限改ざんや産地偽 装などの食品偽装問題



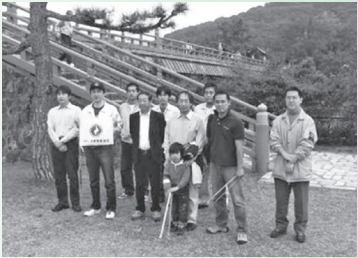
青年部会発足



暴力対策協議会設立総会の様子



京都市との意見交換会



青年部におけるクリーン活動

2008年～2013年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
2008年 (平成20年)	7月	経営者のためのゴルフ学と IT学セミナー	・公益法人制度改革3法施行
	8月	京都府と「災害時の応援業務に関する 協定」を締結	・阪神高速道路8号京都線開通 ・リーマンショックの影響で 世界金融危機に
2009年 (平成21年)	4月	京都市と「災害発生時における応急 対策活動に関する協定」を締結	・衆議院選挙にて民主党が 大勝 ・阪神なんば線 開業
	10月	近畿6電業協会「災害時等における 相互応援に関する協定」を締結	・裁判員裁判の開始
2010年 (平成22年)	9月	京都府総合防災訓練「防災啓発展 示」への参加	・超高層ビル プルジュハリ ファ開業 ・平城京遷都1300年
2011年 (平成23年)	3月	東日本大震災被災者への協会からの 義援金寄付 義援金100万円	・九州新幹線鹿児島ルート 全線開業
	5月	青年部より東日本大震災への義援金	・東日本大震災発生 電力 危機
	11月	総合評価競争入札への対応講習会	・なでしこジャパン初の世界 制覇
2012年 (平成24年)	5月	1級電気工事施工管理技術検定受験 対策特別講習会	・東京スカイツリー開業 ・山中伸弥氏ノーベル生理 学医学賞受賞
	10月	2級電気工事施工管理技術検定受験 対策特別講習会	・衆議院選挙にて自由民主 党が大勝
2013年 (平成25年)	10月	暴力対策協議会が近畿管区警察局長 他から団体功労表彰を受賞	・東北新幹線国内最高速 320km/h運転開始 ・富士山世界文化遺産に 決定
2014年 (平成26年)	3月	近畿6電業協会が近畿地方整備局と の意見交換会を開催	・龍谷大付属平安高校 選抜 高校野球選手権大会優勝
	9月	近畿6電業協会防災協定に伴う情報 伝達訓練の実施	・リニア中央新幹線建設工 事開始



京都府との防災協定締結



近畿6電業協会での相互応援に関する協定



東日本大震災への義援金寄付



青年部会より日本赤十字社へ
東日本大震災義援金寄付



暴力対策協議会 団体功労表彰受賞

2015年～2016年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
2015年 (平成27年)	1月	設立40周年記念式典及び記念祝賀会	・あべのハルカス 開業
	5月	通常総会・暴力対策協議会	・鬼塚雅選手がスノーボード世界選手権史上最年少優勝
	7月	京都市都市計画局各課との意見交換会	・ウィリアム英王子が初来日 ・京都縦貫自動車道全線開通
	8月	京都府・京都市契約課との意見交換会を開催	・フィリピン沖で戦艦「武蔵」発見
	9月	第4回ゴルフ同好会を開催 於 グランパール京都ゴルフ倶楽部 竹香にて青年部会総会	・MLB岩隈久志選手がノーヒットノーラン達成
	10月	京都府総合防災訓練への参加	
	11月	設備三協会合同セミナー 府内自治体への行政訪問 北部(舞鶴地域)会員との意見交換会	・又吉直樹氏が「火花」芥川賞受賞
		暴力団対策に関する講習会(不当要求防止責任者講習)	・第8回ラグビーW杯日本は三勝の歴史的快挙
		青年部会募金活動の貢献により秋篠宮殿下より金色有功章を授与	
		重要文化財指定等建造物電気設備安全点検の実施	・マイナンバー制度 運用開始
2016年 (平成28年)	1月	リーガロイヤルホテル京都にて新年賀詞交歓会開催 青年部会日本赤十字社への募金活動	・持続可能な開発目標SDGs 国連採択
	2月	京都府中小企業会館にて臨時総会を開催	・北海道新幹線が開業 ・熊本地震
	5月	通常総会・暴力対策協議会	
	6月	第5回ゴルフ同好会を開催 於 グランパール京都ゴルフ倶楽部	・東京都知事選挙で 小池百合子氏が勝利



第4回ゴルフ同好会



京都府総合防災訓練



金色有功章を授与



青年部募金活動



通常総会

2016年～2017年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
2016年 (平成28年)	7月	京都府関係課との意見交換会	・三重県伊勢志摩でG7サミット開催
	8月	京都市行財政局及び京都市上下水道局京都市交通局との意見交換会 京都市都市計画局との意見交換会	・18歳選挙権施行
	9月	京都府総合防災訓練への参加	
	11月	京都府北部・南丹・乙訓・南部地域自治体へ行政訪問 北部地域会員との意見交換会	・ノーベル生理学・医学賞に 大隅良典氏 ・113番元素をニホニウムと正式命名
		重要文化財指定等建造物電気設備安全点検の実施	・天皇陛下、「生前退位」 関するお気持ち表明
		設備三協会合同セミナー	・SMAPが解散を発表
2017年 (平成29年)	1月	リーガロイヤルホテル京都にて新年賀詞交歓会開催 青年部会日本赤十字社への募金活動 俳句同好会開催	・新たな祝日「山の日」
	2月	近畿地方整備局との意見交換会(近畿6電業協会)	・金正男氏、マレーシアの 空港で殺害 ・小平奈緒選手、世界スプリ ントで日本女子初の総合優勝
	3月	京都市関係局との意見交換会	・葛西紀明選手、W杯最年長 表彰台記録を更新
	5月	通常総会・暴力対策協議会	
	6月	第6回ゴルフ同好会を開催 於 グランパール京都ゴルフ倶楽部	
	7月	京都市行財政局との意見交換会	・14歳棋士、藤井四段が 29連勝の新記録
	8月	京都市都市計画局及び京都府関係課 京都府舞鶴市との意見交換会 青年部総会及び兵庫電業協会青年部 会との意見交換会	



京都府との意見交換会



京都市との意見交換会



賀詞交歓会



通常総会

2017年～2018年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
2017年 (平成29年)	9月	京都府総合防災訓練への参加	・世界陸上男子リレーで日本がメダル ・陸上100m 桐生選手日本人初の9秒台
		俳句同好会開催	・秋篠宮妃眞子さま婚約内定
	11月	京都府北部・南丹・乙訓・南部地域自治体への行政訪問	・宮里藍引退会見
		重要文化財指定等建造物電気設備安全点検の実施	
		暴力団対策に関する講習会(不当要求防止責任者講習会)	
		設備三協会合同セミナー	
		北部地域会員との意見交換会	
	12月	八幡市・大山崎町へ行政訪問	・羽生善治氏が将棋永世七冠を達成
2018年 (平成30年)	1月	リーガロイヤルホテル京都にて新年賀詞交歓会開催	・横綱日馬富士が暴行問題で引退
		青年部会日本赤十字社への募金活動	・「はれのひ」社長が謝罪振り袖問題で会見
		近畿地方整備局との意見交換会(近畿6電業協会)	
	2月	京都市関係局との意見交換会	
	5月	通常総会・暴力対策協議会	・京都府 開庁150年
	6月	第7回ゴルフ同好会を開催 於 グランバール京都ゴルフ倶楽部	・働き方改革関連法 成立・公布
	7月	京都市交通局及び京都市行財政局京都市都市計画局との意見交換会	・オウム真理教の松本死刑囚ら7人死刑執行
		京都市上下水道局及び京都府関係課との意見交換会	
	8月	かがり火にて青年部総会を開催	・U-20 サッカー日本女子代表女子ワールドカップ優勝
	9月	京都府総合防災訓練への参加	・安室奈美恵氏 芸能界引退



京都府総合防災訓練

2018年～2019年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
2018年 (平成30年)	10月	青年部会でパナソニックミュージアム見学	・東京都築地市場が閉鎖豊洲市場に移転
		設備三協会合同セミナー	
		青年部会でパナソニックスタジアム見学	
		京都府北部・南丹・乙訓・南部地域自治体への行政訪問	
	11月	重要文化財指定等建造物電気設備安全点検の実施	・2025年の万博開催地が大阪に決定
		北部地域会員との意見交換会	・日産 ゴーン会長を逮捕
		俳句同好会開催	
	12月	青年部会第1回ゴルフコンペ 於 グランバール京都ゴルフ倶楽部	
2019年 (平成31年・令和元年)	1月	リーガロイヤルホテル京都にて新年賀詞交歓会開催	・レスリング吉田沙保里選手現役引退
		青年部会日本赤十字社への募金活動	
		俳句同好会開催	
		協会事務所を経済センターに移転し新事務所開所式を開催	
		近畿地方整備局との意見交換会(近畿6電業協会)	
	2月	京都市関係局との意見交換会	・競泳 池江璃花子選手白血病を公表
		青年部会において担い手確保の啓発活動高校生への講習会・現場見学会開催(京都工学院高校)	・イチロー選手が現役引退
	5月	通常総会・暴力対策協議会	・新元号「令和」を発表
		福知山 鳥名子にて青年部総会開催	
	6月	青年部会第2 回ゴルフコンペ 於 福知山カントリー倶楽部	・サニブラウン・アブデル・ハキーム選手が陸上100mで9秒97の日本新記録
	8月	京都市行財政局及び京都市都市計画局京都府関係課との意見交換会	・京都アニメーションのスタジオで火災



俳句同好会



新事務所開所式



京都工学院高校電気科の生徒さんたちと現場見学会

2019年～2020年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
2019年 (平成31年・令和元年)	9月	京都府総合防災訓練への参加	・ラグビーワールドカップ2019 日本で開催
	10月	俳句同好会開催	・消費税10%に引き上げ
		設備三協会合同セミナー	・台風19号が日本に上陸 各地に甚大な被害
		府内自治体への行政訪問	・世界遺産・首里城で火災
		北部地域会員との意見交換会	
	11月	重要文化財指定等建造物 電気設備安全点検の実施	
		青年部会にて担い手確保の啓発活動 京都工学院高校生への講習会開催	
		暴力団対策に関する講習会 (不当要求防止責任者講習)	
	12月	青年部会第3回ゴルフコンペ 於 瑞穂ゴルフ倶楽部	・2019年全英女子オープン 渋野日向子が初出場・初優勝
	1月	リーガロイヤルホテル京都にて 新年賀詞交歓会開催	
2020年 (令和2年)		青年部会日本赤十字社への 募金活動	・新型ウイルス肺炎 感染規模が世界に拡大
		俳句同好会開催	・新型ウイルス肺炎 WHO がパンデミック宣言 ・新型コロナの感染拡大 ・安倍首相が緊急事態宣言 を発令
	5月	新型コロナウイルスの影響により通常総会 暴力対策協議会が中止となり書面決議総会となる	・女子プロレスラーの木村 花さんが死去 SNSでの中 傷が社会問題に
	8月	新型コロナウイルス感染症対策寄附 金として京都府及び京都市にそれぞれ 50万円を寄付	・日本列島各地で大雨 九州を中心に河川が氾濫 (令和2年7月豪雨)
		京都市都市計画局・京都府関係課 京都市交通局・京都市上下水道局 京都市行財政局との意見交換会	・藤井聡太八段 史上最年少 昇段



京都府総合防災訓練



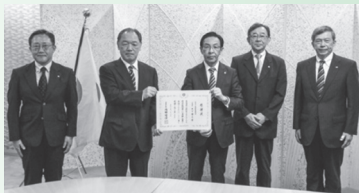
京都工学院高校への講習会(出前授業)



賀詞交歓会



京都市への寄付



京都府への寄付

2020年～2021年

		京都電業協会の歩み	社会の歩み
2020年 (令和2年)	10月	電気工事業者のための改正労働 基準法 わかりやすい解説シリーズとし てYouTubeに動画投稿	・第99代首相に菅義偉氏 新内閣が発足
	11月	青年部会において担い手確保の啓発 活動 高校生への講習会・現場見学会開催	・映画「鬼滅の刃」が記録 的ヒット
2021年 (令和3年)	1月	新型コロナウイルスの影響により新年 賀詞交歓会が中止となり、経済セン ターにて永年勤続優良従業員表彰を 行う	・2021年1月に「大学入学 共通テスト」開始 ・バイデン米新大統領が就 任式
		俳句同好会開催	
	5月	新型コロナウイルスの影響により通常 総会 暴力対策協議会が中止となり書 面決議総会となる	・2021マスターズ 松山英樹選 手がアジア人初となる優勝
	7月	俳句同好会開催	・関東・東海で記録的豪雨 熱海で土砂災害 ・東京2020オリンピック 国立競技場で開会式
	10月	青年部会にて担い手確保の啓発活動 京都工学院高校への講習会開催	・岸田文雄氏が第100代首相 に就任 岸田新内閣が発足
		青年部会にて担い手確保の啓発活動 京都工学院高校生への現場見学会開催	・眞子さまがご結婚に伴い 皇籍離脱
		青年部会にて担い手確保の啓発活動 府立工業高校生への講習会開催	
	11月	京都府関係課との意見交換会	
		重要文化財指定等建造物 電気設備安全点検の実施	
		京都府専門的技術人材緊急養成プロ ジェクト(通称UM7)が有志企業6社に て行われる	
2021年		京都市都市計画局・京都市行財政局 との意見交換会	
	12月	青年部会にて担い手確保の啓発活動 府立工業高校生への実技講習会開催	・前澤友作氏、ソユーズ宇 宙船でISSへ日本人初の 民間人宇宙旅行



現場見学会 京都市新北消防署 新築工事建設現場



京都工学院高校現場見学会
京都市薬只保育所整備工事



府立工業高校 講習会



京都府専門的技術人材緊急養成プロジェクト
(通称UM7)

2022年

	京都電業協会の歩み	社会の歩み
2022年 (令和4年)	1月 新型コロナウイルスの影響により 京都経済センターにて新年賀詞交歓会 (式典・表彰式)を開催	・ロシア・ウクライナ危機の 勃発 ・第94回アカデミー賞平手 打ち事件(誹謗中傷に対 する日米の認識の違い)
	4月 会員お役立ちプログラムとして 社労士との個別相談会を実施	・改正民法施行 成人年齢を18歳に引き下げ ・知床半島沖で観光船遭難 観光客ら26人行方不明に
	5月 3年ぶりに集会形式による 通常総会及び暴力対策協議会を開催 俳句同好会開催	
	6月 ゴルフ同好会開催 於 瑞穂ゴルフ倶楽部	・安倍元首相、参院選・応援 演説中に銃撃受け死亡
	9月 京都府総合防災訓練への参加 重要文化財指定等建造物 電気設備安全点検の実施	
	10月 京都府関係課及び京都市関係課 との意見交換会	・中国共産党大会 胡錦濤 前主席の途中退席が物議
	11月 京都市交通局及び府内自治体 京都市上下水道局との意見交換会 青年部会にて担い手確保の啓発活動 京都工学院高校及び府立工業高校生 への講習会開催 不当要求防止責任者講習会を開催	・イーロン・マスク氏がツイッ ター買収で波紋 ・FIFAワールドカップ日本 代表 ドイツ代表に勝利
	12月 青年部会にて担い手確保の啓発活動 京都工学院高校生への現場見学会及び 府立工業高校生への実技講習会開催 ユーチューブにてインボイスって何？ を電業協会チャンネルに公開	



府立工業高校 実技講習会



3年ぶりの新年賀詞交歓会



3年ぶりの通常総会



府立工業高校生への出前授業

2023年～2024年

	京都電業協会の歩み	社会の歩み
2023年 (令和5年)	1月 青年部会日本赤十字社への募金活動 新入会員の皆様と協会役員との 懇談会開催	・生成AI ChatGPT 登場から 2か月で利用者1億人に到達
	4月 ゴルフ同好会開催 於 アートレイクゴルフ倶楽部 俳句同好会開催 通常総会及び暴力対策協議会を開催	・2023WBC侍ジャパンが 14年ぶりに優勝 ・岸田首相襲撃事件
	5月 青年部会総会・親睦ゴルフコンペ及び パナソニックスタジアム見学会開催	・G7広島サミット
	6月 京都電業協会の一般社団法人移行 手続きがすべて完了	
	9月 京都府総合防災訓練への参加 ゴルフ同好会開催 於 瑞穂ゴルフ倶楽部	・宇都宮ライトレール開業 国内75年ぶりの路面電車新設
	10月 重要文化財指定等建造物 電気設備安全点検の実施	・消費税インボイス制度開始
	11月 京都市関係課及び京都府関係課 との意見交換会 俳句同好会 第200回記念句会開催	・阪神タイガースが38年ぶり 2度目の日本一
	12月 青年部会にて担い手確保の啓発活動 京都工学院高校生及び府立工業高校 生への講習会開催	・米大リーグ 大谷翔平選手が LAドジャースへの移籍を発表
2024年 (令和6年)	1月 リーガロイヤルホテル京都にて 新年賀詞交歓会開催 能登半島地震災害義援金の募集 青年部会にて担い手確保の啓発活動 京都工学院高校生への校内見学会開催	・元日に能登半島地震が発生 ・政党の政治資金報告書に 関する報道の激化 ・日経平均株価の終値が 史上初40,000円超え



京都府総合防災訓練



ゴルフ同好会



府立工業高校生との現場見学会

総務委員会

私たち総務委員会は京都電業協会が規律正しく運営できるように協会運営を司る委員会です。しかし現年度の総務委員会はそれだけに留まらず、様々なことにチャレンジする総務委員会として活動しています。その一つが毎年の総会や新年賀詞交歓会の出席者数の最大化への取り組みです。会員企業は場所を変えれば皆ライバルですが、そのライバル同士が交流を深めることで、時には切磋琢磨しあい、時には困りごとの相談を互に行い、時にはJVを共に組んで大型工事に取り組むなど、地元電気工事会社が地元社会へ貢献するための入り口が京都電業協会となるよう、これからも会員相互の交流の活性化にチャレンジしていきます！



富士電気工業(株)	小滝 寛	東邦電気産業(株)	佐伯 祐左
日本防火産業(株)	松岡 伸季	(株)堀通信	堀 康人
昭電工業(株)	目見田 園子	高崎電機工業(株)	高崎 二郎
(株)デリブ	林 真志	星和電機工事(株)	人見 允教

政策委員会

私たち政策委員会は京都電業協会の地元会員企業の皆様のお役にたてるように京都府・京都市・各市町村に分離発注の陳情、地元企業と行政との対話の場を設け潤滑油となって地元企業の発展のために電気設備業界として活動しております。会員相互の交流会を開催しお互いの会社の悩みや仕事の相互交流を行い助けあえる関係を進めています。担い手不足、人手不足、労務単価の引き上げなど会員企業の皆様の共通の悩みを京都電業協会は解決できるように日々、会員相互で意見交換をし業界の発展に向かって日々、活動をしています。会員企業のお役に立てる電業協会をめざし邁進していきます。



富士電気工業(株)	小滝 寛	(株)植田電機	植田 司郎
(株)オリジナル電設	高田 政孝	(株)堀通信	堀 康人
村井電気(株)	村井 正人	昭電工業(株)	目見田 園子
森電気工業(株)	森 政博	北陵電工(株)	山本 直樹
(株)京阪電気商会	岡本 丈正		

財政再建特別委員会

財政再建特別委員会では先輩諸兄が厳しい覚悟で進めてこられた財政再建を後戻りすることなくさらに進めていくために活動しております。京都電業協会の財政の柱は会員様からの会費収入ですので、新規会員様の入会へのお導きはもちろん、賛助会員様の満足度を高めていくことも目標に活動をして参りました。京都電業協会が業界をリードしていくためにも新たな会員様が必要です。皆様の温かいご支援に感謝を申し上げるとともに、会員数の倍増を心から祈念して、委員会活動報告とさせていただきます。京都電業協会をもっともっと素晴らしい会にしていきたいと思います！入会されていない方にお会いした際には必ずお声がけをお願いします！



(株)ハンシン電気	田中 繁信	中島電気工事(株)	中島 涼太
日本防火産業(株)	松岡 伸季	理事・監事 全員	

新事業創出特別委員会

新事業創出特別委員会は、変化する環境に対応し、社会から必要とされる企業であり続けるために設立されました。地球温暖化対策や脱炭素社会の推進に貢献するため、電気設備工事を通じて建物のZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)化を目指します。特に既存建物のZEB化には豊富な経験が活かされ、地域経済の活性化にも寄与します。企業は『パーパス経営』を実践し、SDGs経営の近代化を進めることが重要です。公共工事に携わる企業団体である私達には、京都議定書の精神を文化として広める役割を一般社団法人として果たすことが求められています。



(株)ハンシン電気	田中 繁信	晶和電気工業(株)	藤井 正
風電気土木(株)	中山 信一郎	新栄電気工業(株)	奥村 健次
(株)植田電機	植田 司郎	(株)堀通信	堀 康人

公益及び青年部担当委員会

公益委員会は、京都府並びに京都市と締結した防災協定に基づいて、災害時における応援活動を効果的に行うための体制の整備及び訓練等を実施しています。また京都府民への防災に対する啓発活動の一環として、京都府防災訓練に参加して安全な電気使用に対する呼びかけの実施や、また京都府内に所在する重要文化財建造物を、電気設備の不具合による災害から守るため、協会会員各社の奉仕の精神により全て無償にて電気設備安全点検を行っています。なお20回以上の多数点検を行っていた会員各社には、新年賀詞交歓会において感謝状を授与し、社会貢献に対して感謝の意を表させていただいています。



(株)ハンシン電気	田中 繁信	高崎電機工業(株)	高崎 二郎
森電気工業(株)	森 政博	上野電機(株)	瀧田 光穂
タキバ電機(株)	瀧葉 雅美	(株)オー・エヌ・イー	内藤 克敏

技術委員会

我々技術委員会では、電気技術者の継続教育のための技術講習会として、現在経審の加点対象にもなっているCPDの単位認定制度を用いて1年間に4回ほどの講習会と1回の見学会を計画し開催しています。講習会では参加していただきやすい環境を考え平日の完全WEBにて開催しています。また国家資格である施工管理技士の1級および2級の受検対策講習会を開催しています。建設業として電気工事業として、様々な変化が必要とされる現在において、会員企業様の知りたいこと学びたいこと等お役に立てるような事業を考え、これからも業界発展の一助となれるよう活動してまいりますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



五島電気建設(株)	五島 幹也	(株)洛南エンジニアリング	堀 誠典
三和電気工業(株)	小野 俊輔	(株)尾形電気工事	尾形 勝治
岡崎電工(株)	岡崎 満	(株)鎌電	鎌谷 裕介
大和電設工業(株)	棚谷 泰輝	日本電設工業(株) 大阪支店京都営業所	大橋 利康
パスコム(株)	小林 範之	(株)タザワ電気	田沢 直
福知山電気(株)	西村 一起	(株)ハルテック	野中 治樹
樋口電気(株)	樋口 一生	(株)関西電業社	吉田 秀人

青年部会

われわれ京都電業協会青年部は、「21世紀における電設工事業を発展させていくための柔軟な発想と、新しい価値観の創出」をスローガンに掲げ、「次世代を担う人材の育成と交流を深めよう!」という趣旨の下、部会員相互の研鑽と親睦並びにその活動を通じて社会に奉仕することを目的として、平成15年4月に活動を開始しました。

主な青年部会の活動

- 日本赤十字社への新年募金活動(賀詞交歓会時に開催)
- 担い手確保のための啓発活動として京都市立京都工学院高等学校プロジェクト工学科電気専攻(京都市)と京都府立工業高等学校電気テクノロジー科(福知山市)の生徒の皆様に出前授業を開催したり、工具を使っての実技講習や電気設備の見学会を開催
- 交流を深めるための懇親会やゴルフなども定期的に開催



青年部会紹介
YOUTUBEを
ぜひご覧ください



北陵電工(株)	山本 直樹	(株)堀通信	堀 康人
富士電気工業(株)	小滝 毅	福知山電気(株)	西村 一起
(株)アート	松本 昂司	(株)いけでん	池永 康正
岩田電気(株)	岩田 隆範	(株)植田電機	植田 司郎
(株)尾形電気工事	尾形 勝治	久世電気工業(株)	久世 純也
大和電設工業(株)	棚谷 泰輝	(株)丹和	谷口 洋史
中島電気工事(株)	中島 涼太	パスコム(株)	小林 範之
富士倉電設(株)	倉井 崇	北陵興業(株)	木下 賢一郎
光星電工(株)	寺田 泰久	村井電気(株)	村井 正人
森電気工業(株)	森 政博	(株)山添電気	山添 宏明

俳句同好会

俳句同好会へようこそ

全国の電業協会でもおそらく稀有な存在と思われる当協会の「俳句同好会」は、1986年9月に故星野柴杏さんを幹事として9名のメンバーで発足しました。以来38年、故石崎陵南幹事を経て、現在は小野の一が代表世話人、山科爽風、進藤道草の2名が世話人を務めています。現在の会員は下表の9名です。

最盛期には毎月のように吟行や句座が開催されましたが、忙しい今日は、無理をせず年2~3回程度の開催としています。例会は昨年末でなんと201回を重ねています。

俳句は難しいと言われる方も多いのですが、前もって兼題(宿題)が示されますので準備して参加できます。はじける様な笑い声に満ちた句座へ、あなたも是非ご参加下さい。



三和電気工業(株)	小野 俊一	宮本電気工事(株)	宮本 みつへ
東邦電気産業(株)	佐伯 希彦	昭電工業(株)	目見田 園子
(株)昭和電工社	進藤 久和	山科電気工事(株)	山科 隆雄
元協会専務理事	巽 信吾	北陵電工(株)	山本 利廣
(株)日本電気	松井 章		

ゴルフ同好会

ゴルフ同好会は、平成25年に会員会社相互の親睦と交流を図ることを目的に再発足しました。年に2回ほど日頃のストレス解消に、そして参加者皆様とより一層の親睦を深めることを願い開催しています。

芝生の上でのプレーは勿論ですが、プレー前後の仲間とのやり取りや、終わった後の懇親会では親しくなった人たちが楽しく交流の場を広げています。生涯スポーツとして、またゴルフ仲間と過ごすひと時は是非同好会でお楽しみください。

当同好会は、登録申し込みをいただいた会社の代表者様をはじめ、幹部の方や一般社員の方までどなたでも、また複数人数でもご参加いただけます。

ぜひ皆様から多数のご参加をお待ちしております。



50周年記念ゴルフコンペ

令和6年10月5日(土)、京都府の中間に位置する瑞穂ゴルフ倶楽部にて50周年実行委員会記念事業部会、ゴルフ同好会主体の下、50周年記念ゴルフコンペが開催されました。

OUT13組、IN12組、合計96名とかなりの大所帯だったため、開会式はせず、それぞれの時間で集合、天候にも恵まれそれぞれのプレーヤーが自分とも戦いながらも、懇親を深めながらゴルフを楽しみました。プレー後はお風呂にて汗を流し懇親会。組数が多く、スタート組がホールアウトし、最終組がホールアウトするまでかなり時間があり、またソフトドリンクでの懇親ではありましたが、名刺交換など行い有意義な時間が持てました。

そしてお待ちかねの表彰式。賛助会員の方々に多くの協賛をしていただき、50周年として恥じないとても豪華な景品の数々。ゴルフ同好会にて司会進行をしました。

50周年特別賞として50位で獲得されましたのは、長年京都電業協会に貢献されてきました、前年度副会長の山科電気工事(株)の山科隆雄様！



懇親会の様子

ベスグロは78という驚異のスコアで上がりました、現常任理事(株)植田電機の植田司朗様！

そして96人の栄えある優勝者は株ほりでの安川隆明様！

景品が当たった方、当たらなかった方、スコアが良かった方、良くなかった方おられるかと思いますが、皆さん充実した1日を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

最後に、数多くの協賛をいただきました賛助会員の皆様、運営をしていただきました50周年実行委員会記念事業部会・ゴルフ同好会、そしてお忙しい中参加してくださいました皆様のおかげでこのような盛大なゴルフコンペが開催できました事、心より感謝申し上げます。



50周年特別賞の山科顧問



ベスグロの植田理事



優勝の安川様

一般社団法人 京都電業協会 50周年実行委員会 組織表 (敬称略)



歴代正副会長

年度	期	会長	副会長	副会長	副会長	副会長
昭和49年(1974年)	1	小滝 慶太郎 (富士電気工業)	原田 琢三 (原田電業社)	棚谷 四朗 (大和電設工業)	—	—
昭和50年(1975年)	2	小滝 慶太郎	原田 琢三	棚谷 四朗	—	—
昭和51年(1976年)	3	小滝 慶太郎	原田 琢三	棚谷 四朗	—	—
昭和52年(1977年)	4	小滝 慶太郎	原田 琢三	棚谷 四朗	菅原 新三郎 (扶桑電機)	—
昭和53年(1978年)	5	小滝 慶太郎	原田 琢三	棚谷 四朗	菅原 新三郎	—
昭和54年(1979年)	6	原田 琢三	棚谷 四朗	菅原 新三郎	—	—
昭和55年(1980年)	7	原田 琢三 (1981.2 辞任)	棚谷 四朗 (1981.2 会長就任)	菅原 新三郎	—	—
昭和56年(1981年)	8	棚谷 四朗 (1981.2 就任)	林 治吉 (現:デリブ)	久保 稔 (光星電工)	中島 貞三 (中島電気工事)	—
昭和57年(1982年)	9	棚谷 四朗	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	—
昭和58年(1983年)	10	棚谷 四朗	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	—
昭和59年(1984年)	11	棚谷 四朗	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	—
昭和60年(1985年)	12	棚谷 四朗	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	—
昭和61年(1986年)	13	棚谷 四朗	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	—
昭和62年(1987年)	14	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	小滝 一夫 (富士電気工業)	岡野 均 (近畿電気工事)
昭和63年(1988年)	15	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	小滝 一夫	岡野 均 (1988.7 辞任)
平成元年(1989年)	16	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	小滝 一夫	小野 俊一 (三和電気工業)
平成2年(1990年)	17	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	小滝 一夫	小野 俊一
平成3年(1991年)	18	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	小滝 一夫	小野 俊一
平成4年(1992年)	19	林 治吉	久保 稔	中島 貞三	小滝 一夫	小野 俊一
平成5年(1993年)	20	小滝 一夫	阪口 毅 (寿電気工業)	小野 俊一	佐伯 希彦 (東邦電気産業)	原田 幹也 (原田電業社)
平成6年(1994年)	21	小滝 一夫	阪口 毅	小野 俊一	佐伯 希彦	原田 幹也
平成7年(1995年)	22	小滝 一夫	阪口 毅	小野 俊一	佐伯 希彦	原田 幹也
平成8年(1996年)	23	小滝 一夫	阪口 毅	小野 俊一	佐伯 希彦	原田 幹也
平成9年(1997年)	24	小野 俊一	阪口 毅	佐伯 希彦	原田 幹也	—
平成10年(1998年)	25	小野 俊一	阪口 毅	佐伯 希彦	原田 幹也	—

年度	期	会長	副会長	副会長	副会長	副会長
平成11年(1999年)	26	小野 俊一	阪口 毅	佐伯 希彦	—	—
平成12年(2000年)	27	小野 俊一	阪口 毅	佐伯 希彦	—	—
平成13年(2001年)	28	小野 俊一	阪口 毅 (2002.3 辞任)	佐伯 希彦	—	—
平成14年(2002年)	29	小野 俊一	佐伯 希彦	—	—	—
平成15年(2003年)	30	佐伯 希彦	小野 昭 (日本システム工業)	山科 隆雄 (山科電気工事)	林 研志 (デリブ)	—
平成16年(2004年)	31	佐伯 希彦	小野 昭	山科 隆雄	林 研志	—
平成17年(2005年)	32	佐伯 希彦	小野 昭	山科 隆雄	林 研志	—
平成18年(2006年)	33	佐伯 希彦	小野 昭	山科 隆雄	林 研志	—
平成19年(2007年)	34	佐伯 希彦	小野 昭	山科 隆雄	西村 伊三男 (京阪電気商会)	—
平成20年(2008年)	35	佐伯 希彦	小野 昭	山科 隆雄	西村 伊三男	—
平成21年(2009年)	36	佐伯 希彦	小野 昭	山科 隆雄	西村 伊三男	—
平成22年(2010年)	37	佐伯 希彦	小野 昭	山科 隆雄	西村 伊三男	—
平成23年(2011年)	38	小野 昭	西村 伊三男	木下 博之 (大興電気)	小滝 寛 (富士電気工業)	—
平成24年(2012年)	39	小野 昭	西村 伊三男	木下 博之	小滝 寛	—
平成25年(2013年)	40	小野 昭	木下 博之	小滝 寛	—	—
平成26年(2014年)	41	小野 昭	木下 博之	小滝 寛	—	—
平成27年(2015年)	42	小野 昭	木下 博之	小滝 寛	—	—
平成28年(2016年)	43	小野 昭	木下 博之	小滝 寛	—	—
平成29年(2017年)	44	小野 昭	木下 博之	小滝 寛	—	—
平成30年(2018年)	45	小野 昭	木下 博之	小滝 寛	—	—
平成31年／令和元年 (2019年)	46	木下 博之	小滝 寛	山科 隆雄	進藤 久和 (昭和電工社)	—
令和2年(2020年)	47	木下 博之	小滝 寛	山科 隆雄	進藤 久和	—
令和3年(2021年)	48	木下 博之	小滝 寛	山科 隆雄	進藤 久和	—
令和4年(2022年)	49	木下 博之	小滝 寛	山科 隆雄	進藤 久和	—
令和5年(2023年)	50	進藤 久和	小滝 寛	田中 繁信 (ハンシン電気)	五島 幹也 (五島電気建設)	—
令和6年(2024年)	51	進藤 久和	小滝 寛	田中 繁信	五島 幹也	—

令和6年度（一社）京都電業協会 組織図



会員のご紹介

2025年1月現在

会員 123社 / 協賛企業 37社



アイダ電機株式会社

代表取締役 相田 広継

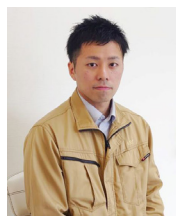
〒616-8066
京都市右京区太秦安井車道町19-63
TEL. 075-812-4302



有限会社アイデン

代表取締役 豊田 南星

〒612-8244
京都市伏見区横大路千両松町8番地1
TEL. 075-200-3300



株式会社アート

代表取締役 松本 昂司

〒625-0020
京都府舞鶴市小倉67-1
TEL. 0773-62-1579



有限会社青葉電気工業所

代表取締役社長 堀口 陽平

〒625-0051
京都府舞鶴市行永東町16番地の11
TEL. 0773-62-4385



株式会社青山エンジニアリング

代表取締役 青山 晋一

〒611-0002
京都府宇治市木幡御蔵山39番地240
TEL. 0774-31-2234



株式会社E&Eテクノロジー

代表取締役 松本 賢悟

〒601-8171
京都市南区上鳥羽川端町208-1
TEL. 075-963-5770



池田電気株式会社

代表取締役 池田 憲治

〒626-0034
京都府宮津市字滝馬705
TEL. 0772-22-1312



株式会社いけでん

代表取締役 池永 康正

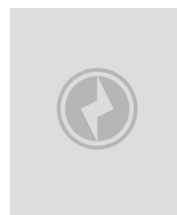
〒607-8252
京都市山科区小野河原町11
TEL. 075-575-2525



井出電機工業株式会社

代表取締役 春田 郁夫

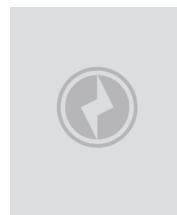
〒612-0835
京都市伏見区桃山紅雪町80-3
TEL. 075-748-6877



株式会社伊藤電気

代表取締役 伊藤 茂成

〒611-0013
京都府宇治市菟道車田5-5
TEL. 0774-23-2023



岩崎電気工事株式会社

代表取締役 岩崎 博生

〒601-1123
京都市左京区静海市市原町469番地4
TEL. 075-781-3040



岩田電気株式会社

代表取締役 岩田 隆範

〒625-0044
京都府舞鶴市字堂奥845番地
TEL. 0773-62-0193



インターテクノス株式会社

代表取締役会長 鶴田 哲司

〒612-8445
京都市伏見区竹田浄菩提院町309
TEL. 075-611-8418



株式会社植田電機

代表取締役 植田 司郎

〒612-8279
京都市伏見区納所北城堀3の5
TEL. 075-631-1112



上野電機株式会社

代表取締役 瀧田 圭一

〒615-8201
京都市西京区上桂今井町138番地
TEL. 075-394-4951



栄光小林電気工事株式会社

代表取締役 小林 田巳生

〒601-1113
京都市左京区鞍馬二ノ瀬町156
TEL. 075-741-2604



株式会社ECOLUS

代表取締役 宮川 忍

〒615-8077
京都市西京区桂芝ノ下町35-6
TEL. 075-382-6660



MDKクリエーション株式会社

代表取締役 眞岩 貞子

〒605-0965
京都市東山区今熊野池田町57-6
TEL. 075-532-0300



株式会社オー・エヌ・イー

代表取締役 内藤 克敏

〒616-8314
京都市右京区嵯峨野秋街道町13-3
TEL. 075-863-6551



太田電気工業株式会社

代表取締役 太田 靖久

〒615-0062
京都市右京区西院坤町106番地の1・106番地の2
TEL. 075-311-0249



鳳電気土木株式会社

代表取締役社長 中山 信一郎

〒606-8202
京都市左京区田中大堰町84番地
TEL. 075-791-8121



岡崎電工株式会社

代表取締役社長 岡崎 満

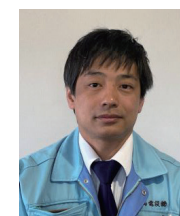
〒600-8843
京都市下京区朱雀内畑町7番地
TEL. 075-314-1158



株式会社尾形電気工事

代表取締役 尾形 勝治

〒614-8104
京都府八幡市川口東頭28番
TEL. 075-982-8131



岡山電設株式会社

代表取締役 大槻 裕二

〒623-0005
京都府綾部市里町大坂33-2
TEL. 0773-42-6601



奥滝電気株式会社

代表取締役 奥野 文子

〒629-3104
京都府京丹後市網野町浅茂川284番地
TEL. 0772-72-0423



株式会社オプロス

代表取締役 富田 浩史

〒603-8022
京都市北区上賀茂東後藤町20-18
TEL. 075-702-0099



株式会社オリジナル電設

代表取締役 高田 政孝

〒604-8432
京都市中京区西ノ京南原町53番地3
TEL. 075-803-4681



カザマ電気工業株式会社

代表取締役 高橋 範寿

〒615-8221
京都市西京区上桂東ノ口町119
TEL. 075-391-6826



株式会社鎌電

代表取締役 **鎌谷 裕介**
〒615-0881
京都市右京区西京極北大入町72-1
TEL. 075-313-1161



関西シグナルサービス株式会社

代表取締役社長 **三ツ野 将弘**
〒601-8394
京都市南区吉祥院中河原里北町39の6
TEL. 075-314-8367



株式会社関西電業社

代表取締役 **赤畠 貞宏**
〒604-8435
京都市中京区三条通西大路西入三条坊町13番地
TEL. 075-802-7321



株式会社技電

代表取締役 **中岡 彰**
〒625-0021
京都府舞鶴市字安岡1065
TEL. 0773-63-9226



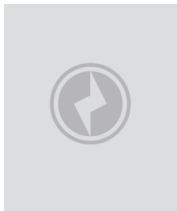
株式会社京栄テック

代表取締役社長 **西村 康男**
〒624-0905
京都府舞鶴市福来902番地
TEL. 0773-78-2451



株式会社京栄電工

代表取締役社長 **安本 博彦**
〒624-0905
京都府舞鶴市福来902番地
TEL. 0773-78-2338



株式会社京電

代表取締役 **肥後 庸一**
〒610-1106
京都市西京区大枝杵掛町13-68
TEL. 075-925-8134



京都通信特機株式会社

代表取締役 **森下 真理子**
〒600-8854
京都市下京区梅小路西中町36
TEL. 075-321-6311



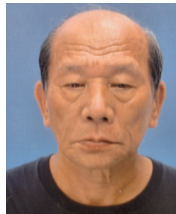
共立電業株式会社

代表取締役 **南 邦彦**
〒619-0241
京都府相楽郡精華町祝園神木段9
TEL. 0774-94-5502



有限会社京山電設工業

代表取締役 **山岡 健市**
〒600-8891
京都市下京区西七条東八反田町33番地405号
TEL. 075-468-1321



協和電気工業株式会社

代表取締役 **奥田 文夫**
〒612-8405
京都市伏見区深草勧進橋町92番地
TEL. 075-642-1877



桐田機工株式会社

代表取締役社長 **山田 健**
〒607-8192
京都市山科区大宅御供田町193-4
TEL. 075-501-5481



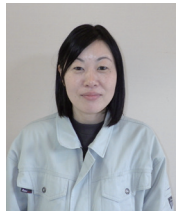
近畿音響工業株式会社

代表取締役 **内林 義治**
〒612-0029
京都市伏見区深草西浦町8丁目61番地
TEL. 075-641-2311



久世電気工業株式会社

代表取締役 **久世 純也**
〒620-0913
京都府福知山市字牧1340番地の5
TEL. 0773-33-3762



株式会社グリーンテック

代表取締役 **池田 朱美**
〒620-0064
京都府福知山市岩井東町69番
TEL. 0773-22-9733



株式会社京阪電気商会

代表取締役 **岡本 丈正**
〒602-0025
京都市上京区上立売通室町西入上る裏風呂町368-1
TEL. 075-432-5951



光和電業株式会社

代表取締役 **芦田 和佳**
〒0607-8188
京都市山科区大宅関生町12番地
TEL. 075-591-7977



株式会社コーシン

代表取締役 **向新 茂**
〒612-8491
京都市伏見区久我石原町7番35号
TEL. 075-933-9067



五島電気建設株式会社

代表取締役 **五島 幹也**
〒610-1112
京都市西京区大枝北福西町3-1-103
TEL. 075-957-3800



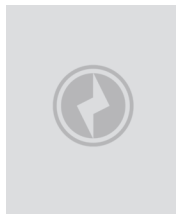
株式会社コトネットエンジニアリング

代表取締役 **人見 健司**
〒600-8806
京都市下京区中堂寺壬生川町20番2
TEL. 075-334-8780



株式会社坂本電気工事

工事課長 **坂本 蓮太**
〒607-8482
京都市山科区北花山大林町69-5
TEL. 075-581-1223



有限会社山陰電気工業社

代表取締役 **生野 敏子**
〒624-0923
京都府舞鶴市字魚屋261-11
TEL. 0773-75-0251



株式会社三光エンジニアリング

代表取締役 **木倉 康博**
〒606-0027
京都市左京区岩倉中在地町104番地7
TEL. 075-600-9735



三和電気工業株式会社

代表取締役社長 **小野 俊輔**
〒612-8463
京都市伏見区中島御所ノ内町36番地
TEL. 075-602-4361



株式会社ジェイ・イ・テー

代表取締役 **奥田 貴裕**
〒615-0846
京都市右京区西京極徳大寺団子田町29-1
TEL. 075-321-8481



昭電工業株式会社

代表取締役 **目見田 園子**
〒624-0913
京都府舞鶴市字上安久135番地の1
TEL. 0773-75-1726



晶和電気工業株式会社

代表取締役 **藤井 正**
〒601-8445
京都市南区西九条菅田町3-1
TEL. 075-661-7048



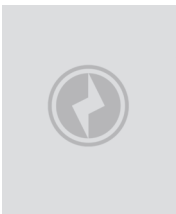
株式会社昭和電工社

代表取締役社長 **進藤 久和**
〒606-0846
京都市左京区下鴨北野々神町33番地
TEL. 075-781-9145



新栄電気工業株式会社

代表取締役 **奥村 健次**
〒600-8812
京都市下京区中堂寺北町30番地
TEL. 075-312-6161



株式会社新生電工

代表取締役 **寺田 克彦**
〒601-8131
京都市南区上鳥羽鴨田町8
TEL. 075-691-5668



株式会社正光電設

代表取締役 **徳岡 志織**
〒615-0801
京都市右京区西京極豆田町8-1
TEL. 075-314-3101



星和電機工事株式会社

代表取締役 **人見 允教**
〒621-0851
京都府亀岡市荒塚町1丁目3番14号
TEL. 0771-23-9366



株式会社創電

取締役会長 **麻田 弘史**

〒602-8297
京都市上京区一条通千本東入伊勢殿構町274番地1
TEL. 075-432-0407



大一電気工事株式会社

代表取締役 **梅川 尚之**

〒624-0929
京都府舞鶴市字寺内157番地3
TEL. 0773-75-0708



株式会社大興電気

代表取締役社長 **木下 博之**

〒601-1346
京都市伏見区醍醐東合場町39番地
TEL. 075-571-7733



株式会社太陽電気

代表取締役 **勝山 茂樹**

〒611-0001
京都府宇治市六地藏札ノ辻町2-2
TEL. 0774-31-8309



大和電設工業株式会社

代表取締役社長 **栩谷 泰輝**

〒601-8316
京都市南区吉祥院池ノ内町83
TEL. 075-672-3311



高崎電機工業株式会社

代表取締役 **高崎 二郎**

〒604-0803
京都市中京区竹屋町通堺町西入和久屋町108番地
TEL. 075-222-1414



タキバ電機株式会社

代表取締役 **瀧葉 良男**


〒602-8382
京都市上京区七本松通今小路下る末之口町437-11
TEL. 075-463-8864



株式会社タザワ電気

代表取締役 **田沢 直**

〒615-0806
京都市右京区西京極畔勝町4-3
TEL. 075-321-6666



株式会社タテジマ電気

代表取締役 **建島 悟**

〒614-8073
京都府八幡市八幡軸2-9
TEL. 075-201-7490



株式会社谷口電設

代表取締役 **谷口 實**

〒604-8841
京都市中京区壬生東土居ノ内町 30-3
TEL. 075-205-3377



田渕電機産業株式会社

代表取締役 **西村 三典**

〒611-0041
京都府宇治市横島町幡貫105番地
TEL. 0774-22-6888



株式会社丹和

代表取締役 **谷口 洋史**

〒624-0932
京都府舞鶴市字宮津口51番地
TEL. 0773-75-0594



株式会社TSエンジニアリング

代表取締役社長 **隠岐 徹**

〒615-0812
京都市右京区西京極大門町24番地1
TEL. 075-312-3900



株式会社デューイテクニカル

代表取締役 **秋山 直樹**

〒613-0024
京都府久世郡久御山町森中内116番地の1 DT III bldg., 2nd fl.
TEL. 075-633-6800



株式会社デリブ

代表取締役社長 **林 真志**

〒604-8437
京都市中京区西ノ京東中合町81番地
TEL. 075-811-7181



電友工業株式会社

代表取締役 **山本 貴之**

〒605-0979
京都市東山区今熊野南谷町9番地
TEL. 075-541-3032



東邦電気工業株式会社

代表取締役 **伊達 知正**

〒600-8811
京都市下京区中堂寺坊城町28番地の1
TEL. 075-811-3131



東邦電気産業株式会社

代表取締役社長 **佐伯 祐左**

〒604-8872
京都市中京区壬生御所ノ内町32番地
TEL. 075-811-7131



東洋電工株式会社

代表取締役社長 **山井 隆文**

〒607-8065
京都市山科区音羽山等地20番地
TEL. 075-592-6200



中島電気工事株式会社

代表取締役 **中島 涼太**

〒604-8443
京都市中京区西ノ京島ノ内町26番地の4
TEL. 075-821-2202



中島電工株式会社

代表取締役 **中島 保**

〒601-8188
京都市南区上鳥羽南中ノ坪町9番地
TEL. 075-672-5181



株式会社中西電気工業

代表取締役 **中西 裕紀**

〒619-0246
京都府相楽郡精華町大字菱田小字山路34番地の1
TEL. 0774-93-0567



株式会社ナカムラ電工

代表取締役 **中井 浩嗣**

〒606-0815
京都市左京区下鴨膳部町103
TEL. 075-721-8881



株式会社西田電機商会

代表取締役 **西田 博一**

〒615-0903
京都市右京区梅津堤下町6番地
TEL. 075-881-0487



日本システム工業株式会社

代表取締役社長 **古市 隆太**

〒601-8316
京都市南区吉祥院池ノ内町8番地
TEL. 075-681-4488



株式会社日本電気

代表取締役 **松井 章**

〒601-1123
京都市左京区静海市原町863番地
TEL. 075-701-8181



株式会社日本電機商会

代表取締役社長 **白坂 航**


〒607-8132
京都市山科区大塚森町13番地の3
TEL. 075-592-4800



日本防火産業株式会社

代表取締役 **船岡 伸季**

〒604-8823
京都市中京区壬生松原町36番地の13
TEL. 075-314-0119



株式会社橋本電気商会

代表取締役 **橋本 茂**

〒629-2311
京都府与謝郡与謝野町字幾地370-1
TEL. 0772-42-3845



バスコム株式会社

代表取締役 **小林 道治**

〒612-8448
京都市伏見区竹田東小屋ノ内町6番
TEL. 075-606-1236



株式会社ハタ電気工事

代表取締役 **畑 彰**

〒610-1122
京都市西京区大原野東野町3-459
TEL. 075-332-3842



株式会社ハルテック

代表取締役 **野中 治樹**

〒622-0042
京都府南丹市園部町栄町2-18-4
TEL. 0771-60-2011



株式会社ハンシン電気

代表取締役 **田中 繁信**

〒615-0863
京都市右京区西京極堤町43番地の13
TEL. 075-321-5473



樋口電気株式会社

代表取締役 **樋口 一生**

〒606-8125
京都市左京区一乗寺清水町15 近畿美装ビル2F
TEL. 075-708-1380



株式会社平尾電機工業所

代表取締役会長 **平尾 憲正**

〒604-8846
京都市中京区壬生西檢町20番地
TEL. 075-313-2374



株式会社深田商会

代表取締役 **深田 金嗣**

〒615-0052
京都市右京区西院清水町63番地
TEL. 075-312-2041



株式会社福多電気商会

代表取締役 **福多 弘祐**

〒623-0054
京都府綾部市井倉町杉ノ木12番地1
TEL. 0773-42-2479



福知山電気株式会社

代表取締役 **西村 一起**

〒620-0057
京都府福知山市問屋町27-5
TEL. 0773-22-3652



富士倉電設株式会社

代表取締役 **倉井 崇**

〒611-0002
京都府宇治市木幡須留1番地205
TEL. 0774-31-8444



株式会社フジタデン機

代表取締役 **藤田 進**

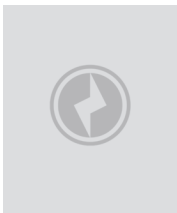
〒601-8114
京都市南区上鳥羽南鉾立町62-1
TEL. 075-204-3596



富士電気工業株式会社

代表取締役社長 **小滝 寛**

〒601-8106
京都市南区上鳥羽北中ノ坪町8番地の5
TEL. 075-672-8581



藤村電業株式会社

代表取締役 **藤村 政文**

〒627-0201
京都府京丹後市丹後町間人2383番地
TEL. 0772-75-0103



扶桑電機株式会社

代表取締役 **菅原 樫一**

〒605-0981
京都市東山区本町通七条下る本町6丁目12番地
TEL. 075-561-9171



北陵興業株式会社

代表取締役 **木下 賢一郎**

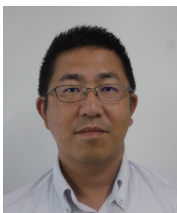
〒620-0059
京都府福知山市厚東町170番地
TEL. 0773-24-4333



北陵電工株式会社

代表取締役 **山本 直樹**

〒603-8142
京都市北区小山上総町29番地
TEL. 075-495-8881



株式会社堀通信

代表取締役社長 **堀 康人**

〒620-0947
京都府福知山市字天田391番地の乙
TEL. 0773-22-1120



松本電業株式会社

代表取締役 **松本 光雄**

〒625-0020
京都府舞鶴市字小倉小字大崎80番地
TEL. 0773-62-8216



光星電工株式会社

代表取締役 **園 周二**

〒604-8435
京都市中京区西ノ京三条坊町22
TEL. 075-802-4111



雅電機株式会社

代表取締役 **滝下 貴崇**

〒601-8447
京都市南区西九条唐戸町17-2
TEL. 075-691-8760



宮本電気工事株式会社

代表取締役社長 **宮本 眞奈美**

〒615-0864
京都市右京区西京極新明町76番地
TEL. 075-312-7621



村井電気株式会社

代表取締役 **村井 十三雄**

〒611-0011
京都府宇治市五ヶ庄折坂21-27
TEL. 0774-32-1208



森電気工業株式会社

代表取締役 **森 政博**

〒629-3121
京都府京丹後市網野町島津2961番地
TEL. 0772-72-0556



弥栄電設工業株式会社

代表取締役 **嵯峨根 仁史**

〒624-0841
京都府舞鶴市字引土275番地の1
TEL. 0773-75-3180



株式会社安田電機工業所

代表取締役 **安田 基男**

〒604-8832
京都市中京区壬生下溝町36番地
TEL. 075-311-8434



山岸電設株式会社

代表取締役 **山岸 三洋**

〒622-0031
京都府南丹市園部町船岡馬場18番地
TEL. 0771-63-1030



山科電気工事株式会社

代表取締役 **山科 隆雄**

〒604-8052
京都市中京区夷川通東洞院西入東九軒町332番地
TEL. 075-231-0223



株式会社山添電気

代表取締役 **山添 宏明**

〒629-2263
京都府与謝郡与謝野町字弓木138-1
TEL. 0772-46-2582



株式会社山田電気商会

代表取締役社長 **山田 孝生**

〒629-2313
京都府与謝郡与謝野町字三河内22番地の8
TEL. 0772-43-0351



株式会社洛南エンジニアリング

代表取締役 **堀 誠典**

〒611-0013
京都府宇治市菟道田中34番地の5
TEL. 0774-22-6357



洛南電気工業株式会社

代表取締役 **芝山 尚規**

〒601-8474
京都市南区四ツ塚町70番地
TEL. 075-691-7747



株式会社令和テックコーポレーション

常務取締役 **中村 健志**

〒607-8165
京都市山科区柳辻平田町150
TEL. 075-204-4880



株式会社若松電業社

代表取締役 **小林 進**

〒620-0856
京都府福知山市土師宮町二丁目100番地
TEL. 0773-20-1177



有限会社和光電気工事

代表取締役 **両角 明広**

〒615-0871
京都市右京区西京極東衣手町55番地の1
TEL. 075-311-5300

賛 助 会 員



因幡電機産業株式会社 電設カンパニー広域統括部

京阪神営業部京滋営業所長 **越智 裕一郎**
〒600-8177
京都市下京区烏丸通五条下ル大坂町396 第3キョートビル 5階
TEL. 075-284-1783



井上株式会社

代表取締役 **井上 大輔**
〒620-0055
京都府福知山市篠尾新町3丁目3番地
TEL. 0773-22-5171



株式会社遠藤照明 京都営業所

所長 **安田 昌弘**
〒600-8016
京都市下京区木屋町通松原下る材木町438 ベラジオ京都鴨川1階
TEL. 075-280-0085



カワイ電線株式会社

代表取締役社長 **小池 一志**
〒533-0004
大阪市東淀川区小松3丁目20番46号
TEL. 06-6328-1421



キノンビクス株式会社

代表取締役社長 **福永 悟**
〒520-3045
滋賀県栗東市高野577-1
TEL. 077-552-1144



株式会社京榮商会

代表取締役 **木下 喜隆**
〒600-8027
京都市下京区河原町通松原下ル難波町412番地
TEL. 075-341-4151



株式会社京都重量

代表取締役 **中井 宏幸**
〒615-0064
京都市右京区西院久田町103
TEL. 075-316-4028



京都精工電機株式会社

代表取締役 **井上 哲次**
〒601-8204
京都市南区久世東土川町350番地
TEL. 075-922-7137



京都電業株式会社

代表取締役 **神舍 佳代子**
〒615-0047
京都市右京区西院六反田町53
TEL. 075-311-1500



湖陸電機株式会社

代表取締役 **小宮山 俊朗**
〒600-8029
京都市下京区寺町通五条上ル西橋詰町771
TEL. 075-341-9271



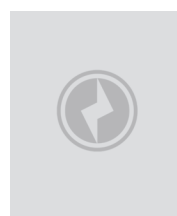
有限会社小南機工

代表取締役 **加藤 充**
〒612-8434
京都市伏見区羽東師鴨川町352-27
TEL. 075-922-3348



株式会社新岩村電機製作所

代表取締役 **橋本 謙一**
〒616-8167
京都市右京区太秦多藪町47番地
TEL. 075-872-7771



高石機械産業株式会社

代表取締役社長 **村松 健一**
〒604-8831
京都市中京区四条通中道西入ル
TEL. 075-802-0171



株式会社たけでん 京滋営業部

上席執行役員近畿第4営業本部長 **山村 貴弘**
〒604-8432
京都市中京区西ノ京南原町51
TEL. 075-803-1888



株式会社たけびし 設備システム部

部長 **井上 英樹**
〒615-8501
京都市右京区西京極豆町29
TEL. 075-325-2133



株式会社田中電機製作所

代表取締役社長 **田中 大介**
〒612-8374
京都市伏見区治部町122番地
TEL. 075-611-5111



塚本避雷針工業株式会社

代表取締役 **塚本 規志子**
〒605-0981
京都市東山区本町十丁目176番地
TEL. 075-541-2115



ツルタ電機株式会社

代表取締役 **鶴田 哲司**
〒604-8133
京都市中京区六角通高倉西入膝屋町174番地
TEL. 075-211-9351



DXアンテナ株式会社 京都営業所

代表取締役社長 **長代 輝彦**
〒601-8003
京都市南区東九条西山王町11番地 白川ビルII5F
TEL. 075-320-4118



東芝電材マーケティング株式会社 京奈支店

支店長 **升田 淳**
〒620-0061
京都府福知山市荒河東町92
TEL. 0773-23-5841



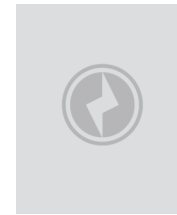
東芝ライテック株式会社 関西支店近畿第二営業所

所長 **岩崎 慎太郎**
〒530-0017
大阪市北区角田町8番1号 大阪梅田ツインタワーズ・ノース28F
TEL. 06-6130-2331



鳥居電業株式会社

代表取締役 **鳥居 正彦**
〒604-8104
京都市中京区姉小路通高倉西入木之下町274番地の6
TEL. 075-221-7171



内外電機株式会社 京都営業所

代表取締役 **丹羽 一郎**
〒577-0045
東大阪市西堤本通東一丁目一番一号
TEL. 06-6251-3801



西尾レントオール株式会社 京滋営業部

部長 **芦田 徹**
〒614-8163
京都府八幡市上奈良長池87
TEL. 075-983-1177



ニシムラ株式会社

代表取締役社長 **藏岡 仁史**
〒601-8104
京都市南区上鳥羽角田町32番地
TEL. 075-681-2331



ニッタン株式会社 京都支店

支店長 **中島 俊咲**
〒600-8008
京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 四条烏丸FTスクエア8階
TEL. 075-213-5501



日東工業株式会社 京都営業所

所長 **林 将之**
〒600-8107
京都市下京区五条通室町西入東鋸屋町186番地
TEL. 075-352-3501



日本電設工業株式会社 大阪支店京都営業所

所長 **大橋 利康**
〒600-8146
京都市下京区七条通り東洞院東入ル材木町499-2 第1キョートビル2階
TEL. 075-353-3300



能美防災株式会社 京都支社

支社長 **谷津 直樹**
〒601-8468
京都市南区唐橋西平垣町7番地2
TEL. 075-694-1192



パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 京都電材営業所

営業所長 **橋本 文隆**
〒601-8127
京都市南区上鳥羽北花名町34番地
TEL. 075-661-5141



阪和電設株式会社 京都営業所

所長 青江 孝和
〒612-0029
京都市伏見区深草西浦町5丁目43番地の1
TEL. 075-642-0664



ホーチキ株式会社 京都支社

支社長 酒井 敬一郎
〒600-8006
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99番地
TEL. 075-211-4376



株式会社ほりでん

代表取締役 中島 規博
〒602-0042
京都市上京区新町通今出川上る元新在家町158番6
TEL. 075-432-0100



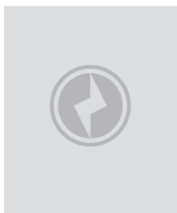
三菱電機住環境システムズ株式会社 関西支社 京滋支店

支店長 吉見 稔
〒612-8448
京都市伏見区竹田東小屋ノ内町52番地
TEL. 075-602-8410



株式会社三星電機製作所

代表取締役社長 三大寺 栄次郎
〒613-0916
京都市伏見区淀美豆町383番地の1
TEL. 075-631-6131



名神電機株式会社

代表取締役 大藪 勲
〒612-8387
京都市伏見区下鳥羽平塚町150番地
TEL. 075-611-3127



株式会社リキデン

代表取締役 藤井 宏之
〒617-0004
京都府向日市鶏冠井町清水5番地
TEL. 075-933-0401

物故者名簿

(27年4月以降)

平成27年度以降に逝去されました会員代表者及び元役員の方々に
哀悼の意を捧げるとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会員名	物故者氏名	逝去年月日
富士電気工業株式会社	小滝 一夫 様	平成27年12月23日
有限会社山陰電気工業社	生野 和俊 様	平成28年 3月20日
奥滝電気株式会社	奥野 重儀 様	平成28年 4月23日
株式会社堀通信	堀 英一 様	平成28年11月17日
東洋電工株式会社	松政 絹子 様	平成30年 3月 9日
森電気工業株式会社	森 竹次郎 様	平成30年 8月27日
鳳電気土木株式会社	中山 岑岸 様	平成30年11月 2日
阪口税理士事務所（協会 元監事）	阪口 晃 様	令和 元年 5月21日
京都電業株式会社	神舎 義夫 様	令和 元年 7月11日
星和電機工事株式会社	人見 徳次 様	令和 元年 9月30日
株式会社山添電気	山添 勇 様	令和 元年11月 8日
五島電気建設株式会社	五島 正則 様	令和 元年12月 7日
大一電気工事株式会社	成田 純司 様	令和 2年 5月15日
有限会社青葉電気工業所	堀口 信樹 様	令和 4年 8月20日
北陵興業株式会社	木下 勝成 様	令和 4年10月31日
塚本避雷針工業株式会社	塚本 健 様	令和 4年12月12日
株式会社山田電気商会	山田 利治 様	令和 6年11月 4日

協会 元会員(協会在籍中に代表者登録されていた方に限る)

会員名	氏名	逝去年月日
大島電気工事株式会社（令6退会）	大島 隆 様	令和 6年10月 4日

(協会に連絡いただいた方について掲載させていただきました。) 50周年記念誌掲載

編集後記

一般社団法人 京都電業協会は 設立50周年の節目にあたり、“未来に向けてのメッセージ”を込めて この記念誌を発刊いたしました。

記念誌部会のメンバー全員で 幾度も話し合いを重ね、多くの皆様にご協力いただき、ようやく完成することができました。

この先も 時代の変化と共に 我々の想いがずっと続きますよう、切なる願いを込めて 後記といたします。

(50周年記念誌発行部会)

50周年記念誌発行部会

記念誌発行部会長	植田 司郎
記念誌発行副部会長	中島 涼太
同 部 会 員	高田 政孝
〃	村井 正人
〃	森 政博
〃	山本 直樹
〃	岡本 丈正
〃	瀧田 光穂
〃	瀧葉 雅美
事務局	齋藤 順

発行人／一般社団法人 京都電業協会
発行所／〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78
京都経済センター419号室
発行日／令和7年4月25日



マークの由来

外周の円は団結と和を表しKの一部を表します。Kの文字の2字を組合せ中心の白の部分は電気を表します。グリーン色は安全を表しています。

制定 昭和55年